

昭和六十二(1987)年 降矢 77歳

降矢静夫書簡集(安孫子昭二宛)

例言

1. 本書簡集は、昭和六十二年(1987)五月二六日から平成十(2000)一月十七日に至る十六年間に、降矢静夫から安孫子昭二に寄せられた書簡四九九通を日付けの順に構成した。
2. 書簡は、宅配の農作物に副えられた簡易な文面、郵便投函の都合から複数通が同封されたものもあるが、一通と数えた。なお、105・139の二通は中川勇の書簡であるが、降矢とも関係するのでこれに加えた。
3. 書簡の通例としての頭語・結語ならびに文頭・文末の挨拶文等は割愛した。
4. 個人情報はなるべく割愛した。
5. 本書簡の公開にあたっては故降矢の承諾を得ているわけではないが、木俣美樹男「山村農人の教養」降矢静夫 20世紀の山里暮らし(『民族植物学ノオト』14号 2021)における降矢の暮らしの哲学を理解する上で関連性があり、一助となり得ることを考慮してのことである。

1 (5/16) ほどよける しめりもたらす めぐみ雨

西原は峠を越えねば他所に出られなかった土地で、昔は山を伝い相武・甲信を通じ生活していたんでせう。砂漠化するかと思う。水不足で青いのは麦・馬鈴薯・蕎麦ぐらいで他の作物は枯れ死 又発芽せず、整地しても立ったままで何処も同じでせう。ですから昔から山村の生活は厳しく、準備工夫を重ね、残った雑穀はみんなその中から残ったものだろう。雑穀に関する資料誌御礼いたします。

山村ではわずかな伝承と経験が基本で学理 基原は知らないんです。大麥参考になります。あの日急いだ為、稗の種は取り落とししました。稗もありました。保存に一番耐える作物と云われています。

十三日夜より慈雨来たる。遅れたが作り直し、蒔替です。

2 (5/19) 私の処には雑穀の種を求めに訪れる方々があります。然し種の保存も年齢のためか限界になりました。山村の手造り農業は崩れて了ひました。

慈雨以来 作り直しや蒔替えに追われます。七十日位遅れましたが、秋には是がどの程度影響しますか。

3 (6/13) 雑穀 日照り最中の蒔きつけで無事発芽なされましたか？

私のは照りの被害で満足に行ったものは有りません。本年は穂もろこし・稗・粟は休みました。普通より早く作った夏蕎麦、実がつきはじめました。四国稗を久し振りで苗代を造り移植栽培です。是が本格です。二〇日から二二日に植える予定です。黍は五月のは日照りで発芽不良、六月新しく二回目を作りました。是も四五日続いた高温でどうなる事か。照りでもう二回被害を受けました。異常気象はいつまで続くか。先日の高温は山野の草木も葉が日焼けしたものが有りました。お暇が有ったら私の雑穀経過でも見にお出掛け下さい。放送局から 下旬は雑穀の村として来る予定です。大麥はもう刈れます。私は小麥を少し作り置きます。

4 (6/23) 日照りに負けず発芽させた御様子 御熱心でした。写真まで添えてのお知らせいたみあります。蕎麦は日照りで発芽が悪かったです。夏蕎

麦は七月中に収穫しますので、小さくとも花が咲くでせう。黍も早い作物です。無肥料の方がきつと実が確実に入るでせう。但しトウモロコシは肥料を与えて下さい。好く出来ると食べられますから 他のもは来年の種用でせう、と思います。

私のトウモロコシは 発芽した所を鳩か黒ツグミに喰われて二回ともやられ、三回目に小豆を作り、甲州種はこれから作ります。秋蕎麦は立秋から五六日経った頃より、八月半日に当ります。只今コンニャク畑の柴かけ中で僅小麦が作ってあり、是の刈り上げ等。 雨も有りますが梅雨にしては少ないです。

5 (7/30) 夏の日の コビリは薯と 稗の餅

私は、本年は四国稗と黍・蕎麦・トウモロコシで他は休みました。夏蕎麦は ● 早く、六月から七月はじめ収穫で、黍は出穂中、四国稗は八月半でせう。秋蕎麦は八月半頃より作ります。又申し上げます。

横浜の新聞より雑穀 稗の俳句を所望されましたが、突然で間に合わず、句に挑戦です。コビリは小晝で茶受けの事、薯は馬鈴薯、稗は四国稗です。苦しい句です。

6 (8/20) 当西原は夜に入ると涼しく 秋虫が鳴きます。六月より雨が乏しく困難しましたが 十三・四日の両日大雷雨で畑も十分です。黍穂揃いして

十六日妻と二人で小鳥防除の網を張りました。粟・黍・稗に網を張らないと小鳥の餌になり、収穫皆無になります。この網張が老人には大変な仕事で黍は照りがちなれど二米近く丈があり、苦労しました。黍は連作を嫌い五年目くらいに、粟、四国稗も三年目に作ります。米・麦・他の穀物は連作せず、三年に一回がいいよう。甲州トウモロコシは二ヶ所作り 発芽四五ヶ位の間に鳥にやられ 作り直しても駄目で種を切りました。来年は友人から種を貰うのです。四国稗は出穂中、八月末か九月四・五日迄に穂揃いです。

秋蕎麦 今日十八日に作り終る。白菜は苗を作り植えます。大根と野沢菜類これより作りです。午後三回目の大雷雨。

お盆は八月で子供も帰省し、盆踊り等。今は静寂なり。

7 (9/2) 秋の気配が濃くなり秋の虫が鳴きます。段々澄んで行く空に蜻蛉が飛ぶ。

高温で台風の被害も受けぬので、日本は稲が豊作、山村の秋作は豊作。黍に

蕎麦は七十五日経つと収穫できるといはれ、稗も早いので山村では救急食糧として古くから栽培されたでせう。稗の中でも四国稗は一三〇日位かかり 当たりの好い場所(畑)でないと涼害の年があります。日照時間の短い山村では不作の年がよくあり、本年は今後台風も無く 霜が遅れると豊作です。何年振りかで稲の如く移植栽培した四国稗 穂揃いになります。妙なのは、照年なのに作物の草丈が非常に伸びることです。黍は色づきははじめ、早い人は収穫始めました。秋蕎麦は九月上旬中に花咲くでせう。只今、小豆が花盛り中です。さつまいも(甘藷)、とうもろこしは明治初年から、馬鈴薯は天保時代か？

お国は山形の由、食用菊の有名な土地、私はやつと三年前に苗を入手、秋になるとテンプラ、酢漬で楽しんでいきます。酒は不要な男ですから、菊酒はたしなまず。

8 (10/6) 月見が来ました。山村は新米の団子も作らず、里芋とさつま薯と栗飯です。五日 四国稗の収穫で、黍は既に干して貯蔵、私の雑穀収穫は

秋そばと豆類です。蕎麦も花が終りに近づきました。四国稗は大豊作です。只今 小豆の収穫で、それに乾草と干し柴刈りです(刈干刈りばかりぼし)です。来春蒟蒻に敷くのです、草は堆肥用で落葉を加え堆肥化ですね。

平年霜は今月の下旬頃で、本年は早いか遅れるか、紅葉もそれにより左右されます。薯類はその頃より掘りあげです。

先日ある雅友に戯作の詩を

雲居の山畑へ日毎通えり 断崖の泉樋より落る音静寂なり
吾耕して天に到達を望願す 秋風は四国稗の穂を揺ぶる

9 (10/16) 初雁が 小豆はんでる たそがれる

文化の日頃、仲間たちと御入来の望みを立てている御様子、その頃は紅葉が美しいと思います。畑の雑穀収穫が終了した時期です。只今、小豆、大豆の取り上げで、秋蕎麦の収穫、今月中に終るでせう。私は収穫と刈干刈りです。お繰合せてご来遊ください。

出不精の私が珍しく県の美術館に行ってきました。ミレーの作品で有名です。久しい間の望でした。

先日、霧の中より雁の渡る声をききました。三日は西原地区の文化祭で句、盆栽等毎年出品です。

10 (11/2) 菊の香や 初鮭うれし 山居かな

近日御入来のご予定は延期なされましたか。若い人達はこの激しい時代はほとんど忙しいことと推察致します。

本年は、当地は珍しく十月中に霜が無く、平年は二三回あるんです。そのために紅葉は遅れて黄ばんだ程度で十日は遅れ、反対に菊の開花は早かったです。雑穀の里へ夏より訪れる人達が増しました。収穫は終了です。

11 (11/4) 農業の方は誰にも負けませんが 三年前より体が老化し、田と蚕

を止めて僅に雑穀と野菜を運動代りに作る丈になりました。然し説明のみで足腰が弱り、実地は不可能になりました。雑穀を沢山作り健康食に売り出す。そうとする案もあります。然し手造り栽培は非常に労力が必要で、どうなりませうか。

天気が定まり脱穀が行えたら、秋蕎麦や食べられるかどうか、小豆でも送りませう。栽培と質問がありましたら、お答えできると思います。今日激しい雨で、両日は読書と句作で頭の運動です。然し視力が弱って来たことは残念です。老人ですが過去を楽しまず、前進で夢を追いたい。それは苦しくも人間の生きるといふことでせう。

昨日は文化祭へ行かずにいましたら、菊の新品種か花の広き牡丹のような菊を一鉢戴ました。出品した菊でせう。私も農作物・句・盆栽を出品しています。今年も用意はしたが見送りました。

蜂に刺されたのも快癒です。紅葉しない山里の秋は風情なしです。この雨では黒く腐って落ちるかも知れない。

12 (11/?) 木枯らしが吹き 霜が来て、やつと平年並みの風景になりました。

晴日が戻り乾燥して、蕎麦や小豆がカラカラ(畑に吊して置いたのが)に乾いたので、脱穀出来ました。蕎麦は秋蒔(秋ソバ)で、西原では立秋が来て四五日頃よりつくります。小豆も秋蒔きで、西原では秋ソバより一ヶ月早く作ります(七月五日頃より)。小豆は食べてください。五日ほど前自然生しいたけを偶然採ってきました。油を引いたフライパンで焼き、醤油をかけて食べるが好いです。

13 (11/25) 落葉ふむ 冬のあし音か カサコソと

木枯に落葉の雨です。急に本格の寒になりました。北国は猛烈な寒さと雪の便り、関東は楽土ですね。でも西原は氷を見、朝は霜で真っ白ですが、平年

よりは十一五日遅れました。寒いと持病の痛風で足腰が痛み老人は駄目です。でも日中は春に備えて畑の冬耕で 僅な蒟蒻芋の掘りあげが残っています。勤労感謝の日も好天気なので山畑の冬耕でした。それが健康に良いようです。農人の信念かも知れません。

14 (12/8) 枳餅や 山家しぐれの 炉端かな

初雪には珍しい積雪で十センチ、平年より半月早い雪です。ご健勝と存じます。師走上旬よりこの寒には面食らいました。雪の降る予報で大根・さつまい芋を取り入れました。蒟蒻も残っていますが、安値なので中止です。雪が消え年内に暖い日が有ったら冬耕です。春に備えての仕事でこのまま寒いと畑が凍りますので、山の仕事です。南面の山で日を楽しむが晴日で無い日は、炬燵に籠ります。老人は寒いと駄目です。

十一月二八日友人宅で枳餅を戴く。子供の頃食ってから七十年振りでした。天気が悪いので雪が一杯です。南面の雪はすぐ消えますが 北面は当分残るでせう。

昭和六十三(1988)年 降矢78歳

15 (1/1) かべに掛く 黍のたね穂へ 初日さし(年賀状)

(1/11) 旧年十二月前半は二回の雪と寒さでお正月を先どりした有様でしたが、後半は暖冬で正月五日まで、畑の冬耕で春に備えました。六日雪より寒く、私の正月で休業冬籠りです。

一月十九日(火)午後七時よりTBSテレビ“そこが知りたい”に山村西原も加えられ放送されます。御覧ください。これから日中は日を楽しんで南面に過します。

16 (1/27) 小寒や 石の地蔵尊 さむそうな

暖冬とはいえず最近寒波が時々来て 寒くなりました。・・・老生一月二十日迄畑仕事でした。例年は十二月一杯で終了でした。それは地が凍るからで、今年は二十日迄持ちました。盆梅が咲きました。全く変わった時代です。

只今は冬籠り、でも雪がどこにも無いので、日中は山に行き南面の日向のくぼみに日を楽しみ、帰りに乾柴を背負ってきます。是は蒟蒻が発芽したら敷く為のものです。正月に帰省した子供は、親爺の生活は今の世では最高だと

いう。聞てみると、心身をすり減し、廃人となって行く同僚もあるといふ。激しい時代のようです。雪が積らないうちは、体調を崩したり老齢化を防ぐために、日中働きたい。寒いと炬燵で読んだり、眠ります。

夏から雑穀の句へ努めています。雪が積らないうちは、体調を崩したり老齢化を防ぐために、日中働きたい。寒いと炬燵で読んだり、眠ります。

17 (3/4) 雪ならば 壁の種穂へ 鳥が来る

待望の雪が降りましたが、降ると流石にうんざりです。・・・
流感の節 皆々様御健やかですか。 私は三月半ばより温和な気象なれば本年の年度はじまりで畑に立ち、野菜の作りはじめです。然し三月は雨、雪の日が続きます。結局は四月が新年度でせう。科学が進歩し産業革命は厳しい。私などは農を語る資格もなくなりました。

消えようとする雑穀の種をせめて次代に残そうとして 同志に呼びかけています。一方 時代の常識にも欠ける老人で、小学校で少し習っただけの世界地図の勉強です。カルガリーを見ついたり、アフガニスタン、パキスタンと紛争国を探したり、寒い時期にはこれも結構趣味には老人にはいいですね。遺跡埋蔵文化財関係が何処も盛で、古代史がはつきり今になるでせう。暇になるといういろいろ学びたいものが一杯です。・・・

私の倅も務人で、学校・消防・自治の事で日曜日の半分は終り、他は家族の義理(冠婚葬祭)などで、私の仕事には手伝えません。二歳半と小四・小一の孫です。都会も田舎も差が縮まる生活になります。然し故郷を持つ人は幸福で、それがだんだん狭められていくでせう。

私も一度 高幡不動尊、百草園、遺跡公園、調布深大寺など探訪したいところは沢山有るんですが、足腰が弱くなるとだめです。約三十年前に胆のう欠除で、以来食の好みが変わり、皮膚が弱く、杉一杯の土地に生存しているのにここ二三年花粉症にかかり閉口です。

18 (3/10) 春寒し 爆撃忌きし 世のさかえ (三月十日都が爆撃されし)

五月半ごろ来遊の予定の由、連休中は混雑で丁度良い時期と存じます。小さな土地で何も得る処は無いでせうが、水と空気は一級でせう。

彼岸が近づきます。彼岸が起点で農耕がぼつぼつ開始です。冬眠の虫の如く、そろそろ起出します。鶯菜・大根・馬鈴薯が先です。雑穀類は八十八夜が中心です。珍しい暖冬で梅も例年より早く開花はじめ、ここになり足踏み

です。彼岸頃は鶯が鳴き出します。寒波が去れば日脚が伸びているので気温が上り、忽ち本格の春でせう。

19 (4/6) 花までど 奥郡内は 雪である

一春は九十日その三分の一が過ぎ やつと春らしきを感じたら 又大雪です。お変わり皆様ありませんか。農は追い詰められて行く時代に、気象にまで背かれまます。馬鈴薯作り春蒔の菜類を蒔き、葱を植えました。五月になれば雑穀類です。晩霜も心配です。

四月三日、迎えに来たので昭島に住む長女の処へ盆栽の植替に行き、二泊して帰ります。昨年からの約束でした。昭島市は九年ぶりで 市も驚く成長でした。花粉症で眼が悪く閉口です。

20 (4/19) 春らしくなりましたが低温がつづき、十日は遅れています。不

順の気候で晩霜がつづき 作物の蒔きも作ることも急げません。
五月はいろんな先生方が探訪下さる御様子、有難いことで 家庭の都合上雑穀をご馳走することができぬが残念。現在は雑穀を一年も長く栽培して貰うことと大勢に理解して蒔き、栽培して貰うことを願っています。高齢ですから毎年全部の雑穀を作ることは無理で 隔年で作ったり、友人に休む年は作って戴りしている次第で、種保存のための栽培で小面積に作ります。

雑穀は食べるまでに非常に手数がかかることが欠点です。特に稗が厄介です。都合によれば印度の研究者が夏に視察に来るかも知れません。西原は八十八夜頃より雑穀作るのが大部分です。

21 (5/12) 葉桜や つばめの来る日になっ

老生は半分遊び半分は仕事でした。定期的に農耕は忙しいものですから。西原探訪の先生達(註・筑波大学西田正規氏等との研究会「寄合い」三周年を記念した総勢三二名の雑穀ツアー。五月十四日に三頭山荘に投宿、降矢さんと脇坂芳野さんから話を伺う)は、どんな事を知りたいのか、何を尋ねたいのか? 何とか添へたら、役に立ちたいと思います。

珍しい遅霜で低地の畑は被害が大きいです。異常な天候で高温と低温が前後したり、乾燥が強く作物の発芽は悪く、閉口です。

今月半にNHKから三共の里の青葉の風物と雑穀作りを撮りに来るとか(私に関係ありません)。雑穀がバカ人気です。

22 (5/17) 行く春へ 雉鳴くなり 人恋し

お疲れと思います。皆満足らしく何よりでした。青葉と清流きつと何かを心へ残ったらいと思ひます。私も若返った様な一日でした。

雑穀も作る時期で、秋十月半事でしたら収穫期です。少し乾燥の強さも降霜で発芽も悪く、どんな成長ぶりか不安です。粟ととうもろこしをこれから作ります。月末か六月早々茶摘です。

23 (5/26) 万緑の 雨にいき付く あか牡丹

あれから又NHKが来た様子で、秋か冬の生活の一端でも撮りたいのかも知れませんが。霜とカラカラ天気で生気を失った私の作物 やつと元気が出てきました。反対に疲労と風邪で自愛 家居です。

山時鳥が来ました。晴れると松蝉も鳴きます。エンドウ初ちぎりしました。間もなく六月になります。六月は白い花の咲く月で、卯の花・野バラ・山法師・水の草さては朴ノ花。

24 (6/8) 七月の暑さなみの暑さで驚きました。記念の写真有難う存じます

す。恰も深山幽谷といった背景ですね。私にも良き記念です。皆様にもよろしくお伝えください。私の畑も賑やかで、五月半とは一変です。ソバは花が咲き出しました。今頃なら畑らしかった。

さて、本年はウルチ性黍(木俣さんから)を十五粒入手。菊鉢二ヶに蒔き、来年は是を種子用にして 桃太郎の黍団子を得たいのです。この黍団子はモチについて作ったのではなく、粉にて作ったものと思え、きつとウルチ性でせう、久しく探していた次第です。花粉症から続いて咳カゼと 四月より体調をくずして仲々本復せず。又暑さに降参です。

25 (6/23) 雨ありて 四国稗うゆ 夏至であり

空梅雨やつと雨が来て本格の梅雨に入りました。ご健勝と存じます。廿一日 四国稗を定植出来ました。蚕の上簇 田植えの時期らしい。

何年振かで穂モロコシ作りました。東アフリカ原産だというのが、四国稗と一緒に伝来 前後してか? 鉢に蒔た試作の黍も確実に成功しそうで、来年は桃太郎の黍団子が作れるでせう。発芽したコンニャクへ 秋刈った干柴をかけています。

田も蚕も捨てても六月は忙しい。トウモロコシは昨年にくりて 今年に網を張

り作りしました。馬鈴薯の収穫期が近づきます。麦も今年は休まりました。他の雑穀は全部作りました。霜に焼けた夏ソバ七月半は取り上げられます。雨になると家居です。

26 (6/29) さみだれの 雨間若ものの 葬ありぬ

御厚志のお電話御礼申し上げます。ご招待本当に感激です。五月頃の風邪を治しそこね、急激な暑に山畑の畔に茶ばさみ(製茶用)で体調を害しました。食欲不振で、体力まで失せて、私としては珍しいことで、雨になり低温で回復してきました。ご心配なく。暇のある頃は老化して不都合です。

ここ雨で家居が多く、雨間に盆栽の手入れです。西原の農ははげん(七月二日)三日位迄は 夏作の蒔つけ植つけしたものは確実に実入ります。秋作は八月土用明です。 立秋です。

27 (7/17) 炎天下 もどれば井戸の 水に縋る

梅雨明けず弱りましたが、老生は涼しいので、健康を取り戻しました。然し仕事は遅れ雑草が元氣です。春より家の改装と改修で農家より近代住宅に、これも時代でせう。八月には完成します。晴耕雨読の生活です。

馬鈴薯の収穫で玉蜀黍は花盛り中、穂モロコシ土寄です。夏ソバ収穫したいが晴をまっています。夏ソバは八十八夜より播種、秋ソバは立秋よりで、故秋ソバと呼ぶ。四国稗は夏至の日定植、五月と異り、一度作柄を見て戴き度く、荒土で耕土が浅いので、雨の多い方が作柄は好い畑です。キビは私の丈位になりました。只今 小豆を作りたいが、草と雨で時期が遅れそう。八月半より大根、白菜作りになります。百姓情報です。

28 (7/28) 病める夏というか、暑くない夏、朝夕はまだコタツです。

とにかく別荘にでも行ったような生活です。山霧・細雨の日がつづき、山の高原の如き幻影にひたります。

七月中 取り入れ予定の夏ソバは そのままで実もこぼれませう。馬鈴薯の収穫、是もそのまま、小豆もつくり切れず時効です。

土用明け(立秋)を境に秋の作付けです。秋ソバは約二十日間、日向の畑とか前作の収穫等より作ります。ソバは不安定な作物で、早くて台風でやられたり、遅れると霜が早いとだめだし、その年その年の運まかせで豊作は隔年か三年に一度です。大根、ホウレン草等は、立秋七・八日頃より秋彼岸まで

なる。時代は鎌倉時代。都留市郷土研究会も町田市の大泉寺発祥地に探訪したのでせう。展覧会場に大泉寺の写真が飾ってありました。会長の窪田薫先生とは昵懇です。私は徳川以前の西原は不明の事が多いので、小山田氏の関連か一端か解けるかと思いましたが、小山田氏とのつながりは浅いようです。

・・・私は狭い谷の為に、若い頃は百姓になる気は無く、家庭の都合上末子で準養子として家を嗣ぎました。然しどうせやるならと、努力して村の第一人者になったんです。無冠無名人ですが、農だけはだれにも負けられませ

35 (9/25) 酒肴 板野の里のよい祭り

金一封 これはこれほど 背をかがめ

祭りも雨で終りました。板野は西原の古名らしい。彼岸も月見も亦雨。敬老会は祭りで延し十月二日地区では催し。県敬老祝金を贈られました。雨で一週間炬燵生活 読書を楽しんだり駄句を作ったり、五輪をテレビで見たり、・・・

「小山田遺跡群」「No.57遺跡」を読みました。遺跡庭園に私の雑穀の種が栽培されてあることは光栄です。・・・私は盆栽にも興味があり、それから作物外に植物にも惹かれて様々な木を集めた時代もあり、公園にはブナが植えてない様ですが、庭木用の何かあります。公害に強いアララギもありませ

知人友人に雑穀研究家、郷土研究家、農家、地方の文芸家があり、老人になつても私もそういう人達があることは幸福であり、喜びですね。

農の近況 秋野菜は雨低温、病害虫で自家確保が危い次第。

36 (10/11) なが雨や 粟穂うなだれ 老にけり

十月二十四〜五日頃、雑穀研究所(木俣さん)よりインドの雑穀権威者と私の処へ訪れる予定ですが、・・・約束はしています。

蒟蒻の作り方は西原と同一です。松原村は山一重ですからあまり変わらな

い。いづれ掘り出したらお送りしますが、その折詳細は。不順な天候で山村は飢餓の土地で作物によつては種もとれません。ソバも花はよく咲きましたが、実入りは僅です。粟・四国稗も熟しているが、晴天が待たれます。もろこしは半分収穫しました。全くあきれた年です。九月下旬から十月一杯は刈干刈ですが少し刈ただけです。

37 (10/20?) 木枯しの 粟穂ゆずぶる 秋なかば

木枯し一号 十月十三日。天候が回復したと思ったら突如冬の嵐です。山岳は雪が沢山積つたとのこと。心配していた初霜が十四日にきました。

望をかけていたソバは駄目になりました。・・・時には妻と収穫で、四国稗は十一日、穂モロコシも同日頃収穫です。粟の方は十五日、後は余り実の無いソバと小豆です。老人の趣味の余技の如き雑穀栽培ですから、どんな結果でもいいが、矢張りこんな年では味気ない。離農して三年、運動のための仕事ですから。・・・里芋だけは上作です。

(同封の)蒟蒻芋、昔は芋をゆで 白でついてよくつけた頃、つき合せ、是を型に入たり餅の如く握つて鍋に入れ、ゆでて出来上がり。煮ると結構硬くなり、この蒟蒻が一番味があり、私の好みです。(むかしはソーダを使わず)小麦殻やソバ殻を焼いた灰の溶液を澄ましていれました。是が最高の味です。

38 (10/28) 蒟蒻芋のつくり方、家の嫁は度々作るので目分量ですが上手です。

延期でインド雑穀権威者(シタラム博士 木俣さんの案内で) 二十七日来宅で 私は雑穀の種を揃えたり、畑も整理で二日かかりました。雑穀の種をいろいろ持ち満足して帰りました。私としては外人に見に来てもらったことが嬉しかった。

39 (11/3) 晴日が続くと寒さも依然続きます。立冬と共に早い冬の装いで毎

朝山野も谷々も大霜です。・・・凶作の年乍ら里芋はとれましたのでお送りします。見栄えは悪いが荒い土で育ったので他のものよりしまった芋です。

里芋は残りが乾かぬよう土の埋めおくか、段ボールに入れ濡れた新聞紙か濡れた布でおおいます。

薯は洗い置きすると皮が堅くなるので、茹でて熱いうちに柚味噌又は好みのたれを作りつけて食べる。又は、串にさしたれや味噌を塗り焼いて食べ

る。・・・私の子供の頃は里芋丈で朝食でした。大鍋に薯を入れ塩すこし加え、水は芋に載るくらい、夜ぐつぐつ煮る。最も南瓜を上、無い場合は蕪、大根を入れて夜に煮上る迄煮て、おろして翌朝味噌を入れて汁が煮詰まるまで煮てそれを各自に盛って食し。上下交ぜ合わせると南瓜の味がでて美味。時にはさつ

ま諸を入れるが、この方が劣る。是に雑穀の餅でも添ればいい朝飯です。夕方、夕飯前に僅残った芋を焼いてよく食べました。

40 (11/4) 十月二十七日 昵懇の木俣農博士の案内でインド雑穀権威者シタラム博士が拙宅と畑を見にきました。凶作の年で残念でした。様々の種子一式を揃えた小袋に持って、満足の様子でした。日本の菊の秋、印象に残るように菊の花の天ぷらを馳走しました。

41 (11/17) 冬型の空は、関東は晴天ですね。・・・私の父の教育は厳しく、お父は勝手を覗かず、腹が空いても膳立まで待つている家庭でした。ですから料理の説明はしても作ったことなしで、三年前迄妻と二人の生活時代、妻は用事の折初めて自炊しました。それがカユの如き飯で残ると雑炊にして食べていました。

拙宅も新時代で変わって、今は現代風です。でもまだ私丈には昔風の躰が身につけているようです。・・・昨日は中日新聞が雑穀の穂の写真撮りに来ました。脇坂さんの案内でした。当地紅葉の美しくない秋です。

42 (11/19) 永年憧れていた食用菊(モツテノホカ)株 山形よりご持参され、今より来秋の開花を楽しみにしています。一木一草でも思い出や由来があれば、茂る度、花を見る度に季節を楽しみ、やがては自分の生きている幸福が強められてきます。

十八日細雨で寒 終日炬燵で一日休息でした(十六日に中日新聞の取材で穂モロコシ、粟を臼と杵で四時間脱穀してみせ・・・)。久しくこんな仕事をしなかつたので、腕が痛み、筆がふるえて満足に書けません。

後は四国稗と粟の脱穀で、蒟蒻は掘り上げた翌日 農協で集荷です。天気が快方すれば、畑もやわらになりますから冬耕ですが、高い山は初雪で 日蔭の畑は凍る日が近くなりました。時代の変遷と共に、私の夢は崩れて、浅学無名の野人で漙てしまいました。米、麦、多収穫取りに専念、幸い蒟蒻の多収穫にも亦そうでした。みんな崩れ捨てました。その頃重点を置かぬ雑穀作りを余生の仕事に撰ぶとは、然し縄文時代か弥生時代に波及してきた四国稗が四千―三千年の今日に私の種子がインドに里帰りしたことは、私にとつて歴史的事実で、面白い話で、一つで雑穀を作っていた私は価値が十分と満足しています。

現在 研究家の話では、何れも山奥 長野に一村、静岡に一村、奈良に一村、

福井に一村、西原と五ヶ所らしく、栃木・群馬・埼玉の山村でも昔は作ったであろうし、尋ねると現在でも可能性はあります。先日は、高知県の四国稗の研究者が、私が教えた白山麓の白峰村に行つたといつて、現地の話や写真を添えて知せてくれました。また誰かが珍しい便りを呉れるでせう。・・・飛んだことを書きました。

ご都合してお出掛けください。矢張り五月頃が好い季節です。・・・

43 (12/13) 日暮れて道遠しといった私も、お陰で遺跡といふこと教えられ、雑穀に関連して勉強致しました。本年の私の収穫の一つとして御礼申し上げます。

冬至が来ますね。私は青年時代より冬至の翌日をなぜ元旦に定めないかと議論したんです。それで無かつたら、節分の翌日が好い。現在の一月一日はまったく意義がないんです。農には冬至の翌日がものの起原が好いからです。又節分の翌日でもいいので、それが起点で八十八夜があり、二十十日が数えられます。・・・縄文人たちはこうした自然の法則を知り、冬至、節分、秋・春の彼岸中日、夏至を原点、起点にして生活したことでせう。農耕があり、猟があつたでせう。農耕より知らない私の一生ですが、考えてみると妙な人間かも知れません。

・・・シタラム博士と撮つた写真が四五日前に届きました。私には尊い記念写真です。穂モロコシ 四国稗とおなじく東アフリカが原産だそうです。是は西原としては遅れて作られたような気がします。

土佐の四国稗研究家の佐藤氏は、粟の先祖だと云われている雑草エノコログサを採集して、その実を精製 精白して試食した由、私に知らせて呉れました。真っ白になつたそうで、味は滋味があつたことです。雑草ですから随分根気よく採集したものです。山の木の実類や若芽はアクがあるので渋抜きしないと渋があるですね。・・・私も暇な時期に雑穀を精白や製粉にして、好む人に送ろうと考えています。持病の痛風だいが快方で、仕事にかかっています。暇ですから変な事ばかり書きました。

昭和六十四・平成元(1989)年 降矢 79歳

44 (1/15?)

(一通目) 昭和から平成へと変りました。・・・明治生まれで、大正―昭和

和―平成と生きてきました。暦を見ると数え年八〇才だそうで、自分でも驚

きました。果たして定命は何時までか？

今年の私は、戴いた山形の菊の試作で秋が楽しみです。次に昨鉢で培養したウルチ性キビの畑へ本格の栽培です。是は西原では最初であろうと思います。沢山収穫ができましたら童話の桃太郎の黍団子を作り食べることで。次は、友人より譲りうけたネパールのシコクビエの種子を鉢で作りませう。猶、ネパールのソバらしい種子もあるんですが、是は春蒔き性か秋蒔き性か不明で、一応鉢にでも作り試験です。これが本年の課題です。

(二通目) 縄文人も食べたでせう。例のシコクビエの粉とモロコシの精白した粒をお送りします。コクビエ粉 ウルチ性で粉食用。現在は餅、饅頭ですが、粉を熱湯で練り、ソバがきの如くそのまま食べます。西原では昔そんな食べ方もありました。シコクビエ食べた事ありますか。参考に食べ方を述べます。熱湯を使ってこねます。よくこねたら適当に餅、饅頭、団子にしてこれを蒸かします。煮てもけっこう、出来上がりです。白米のウルチの粉と同じ扱いで、冷めると堅くなります。味も似ていますが、色が褐色です。粟をこねこんだり、サツマイモを刻んでこねこむ事もあります。私は母が山百合をこねこんで作ってくれた味を忘れません。モロコシ粉の方はモチ性で、餅について食べます。現在はモチ米に二・三割位を入れてつきますが、熱湯でも入れてモチ米よりよくふやかしてください。面倒でしたら、白米に一・二割入れて飯で食べてもいいです。

45 (1/26) 雑穀は現代人には決して美味なものではなく、栽培しても徳な作物ではありませんが、縄文時代の味があるでせう。彼等が遠い国から運んで新しい土地に移住する時に一緒に持参し、共に生きて来た名残でせうから、その意味を味はうものでせう。それ故 日本では実用時代は昔に終り、現在は過去のものになるうとする処まできたのでせう。然し今もインド・ネパールの高原地帯で広大栽培が続いている由。

蒟蒻は生玉からは無理だったようですね。西原農協でも粉は年間あります。生玉で作った味の判る人は生玉ですが、十一月から遅くも三月頃まで、それから粉で作るより仕方なしです。蒟蒻も古い時代のもので里芋の如く煮て食べたでせう。・・・大寒になったらさらに暖冬で、大雨が降り驚きました。

46 (1/26) 二信 二三日早晩より雪 初雪で二五センチ積り、後は雨交りで正確には積雪量は計れず、夜半に晴れ 二四日の雪掃きは表面が凍り困難です。

冬籠りの生活になりました。それに持病痛風で足腰の痛みまだ残り、家居でテレビ見と茶を呑むが仕事で、読むことも書元気なしです。正月三日 信州の遠山郷の旧霜月祭の夜神楽に行ったという知人、週五日制の時代、独り閑居も亦妙ですね。

立春が近づきます。旧正月とあまり差なしですね。・・・是から彼岸迄 天候は平坦か陰峻か、私の冬眠は何時迄かです。・・・

47 (2/27) 暖冬で彼岸頃の如くですが、このまま春へ移行とは思えず、・・・

立春が農の起点 四二日で彼岸、それから四六日で八十八夜です。平年彼岸から農作業開始で小カブ・春菊・鶯菜・春大根等のセンザイ作って、次に馬鈴薯です。二月が年内で一番暇です。

ところで老化のためか、痛風で七〇日も苦しみました。妻と二人の生活時代は雑穀に麦も加え、米の混色で肉も魚も僅でしたが、長男夫妻が戻って孫三人の食生活になり、肉・魚も多い白米食で雑穀はほとんど食べず、是も時代や家庭上仕方なしです。私の好みや健康は第二です。

花粉症にかかる私は西原で育ち杉・桧を植えて長年生きてきたのですが、約三〇年前に胆のう欠除の身になり以来、体質が変調になり、加えて老齢化して体調も弱り、変異したことが原因でせう。只今は医者に三〇年ばかりからず、薬も風邪薬を時に服用位です。妙な事が起きました。それは友人(中川さん)が薬湯風呂の試験に招かれ、隔日一回浴しに通ったところ、痛風の痛みがとれました。暇な時期なので、友人が手造りの稗の粥(へいのけい)を久し振りに馳走になったり、ソバの煮込みを食べたりで、現七回入湯でほとんど痛は失せました。同級生の友人は全くいいもんですね。友人も私に似て足腰が痛み、是は神経痛の方です。彼は医者、灸、ハリ等にも通っているんです。・・・

鶯は平年、三月十七・十八日 初鳴ですが、今年は何日か？ 二月三日、みそさざいが来て鳴きました。三月五日の啓蟄を得たので、虫も日中は目覚めたと思えました。二四日の大喪の儀の日は一変気温が下がり、白雪一色の半日でした。半月位早い暖は寒さでどうなるか。

48 (3/14) 寒暖入り交り春の展開足踏みです。鶯はまだ鳴きません。・・・待望の彼岸が来ます。先住民族の血は現代人にも受け継がれているのだろう

か？血潮が騒ぎます。遺跡が最近特に多く発見されますね。吉野ケ里は古代史を書き替えるような世界的らしいですね。・・・雑穀も稲も残っている。里芋・蒟蒻芋もその時代からのもので、蒟蒻芋もとは里芋の如くよく煮て食したらしく、長時間かけて煮なければ食べられぬが味はいい。蔓性のゼンブの味で、ゼンブも古いもので、山芋に似ているが、山村では絶えたようです。・・・青年時代米沢の雪菜に挑戦して失敗した思い出があり、今年テレビを見て判明しました。

49 (4/7) 春の花が展開されました。彼岸頃の雪と寒の戻りで一応痛がとれた痛風が又痛み出し、杖をつけて畑ですが狭い面積を趣味的というか運動の為かの農作業ですから予定通り作付けしています。晩霜を心配して是からはトウモロコシや瓜等を作り五月八十八夜より雑穀です。梅の盛りで桜も咲き出す昨今です。

50 (4/10) 花の雨 黙然ひと日 家居かな 四月八日

『岩手の雑穀』同窓の方が心血注がれた貴重誌 有難く拝受。皆真剣に努めていること感動します。昔から雑穀は東北が王者でせう。・・・岩手といえば私の兄が以前宮古と花巻に在住したことがあり、兄は判事で一度訪ねたい望もあったが、家勢のドン底時代で駄目でした。依頼して宮沢賢治詩碑の拓本を貰いました。高村光太郎書く、現在軸にして置ます。ノラボウ 西原では以前作らず、ここ三十四年作る人あつて、現在農友が食べていて、先日私も馳走になりました。三年前私も作りましたが、日影の畑なので越年せず霜枯れました。・・・五十年前、米沢の雪菜に挑戦して失敗した思い出あり、雪菜もこの系統と思います。油菜の系統でせうか？ 丈夫でしたら挑戦してみるつもりです。

51 (4/21) 花から若葉へ自然界は急速に転廻しました。大型連休が来ますね。鯉のぼりが晩春の空を泳ぎます。八十八夜が来ると雑穀作りですが、相変わらず痛風に悩まされています。十五日より三日間 十年振り旅をします。末子の運転で老妻と結婚五十年目で初めての旅でした。富士東廻りで箱根の芦の湖、十国峠から熱海に一泊、翌伊豆スカイライン―伊東迄、帰途は海岸線を厚木―川崎―調布泊り、多摩周辺を少し歩いて帰宅。後一日多摩辺を歩きたかったが後日にしました。杖をついての旅は楽ではありません。然し何処を見ても私には未知の世界ですから興味は一杯で、幸車酔もせず、車の

旅三日間でした。

52 (5/4) 二日は若葉に薫風る好天気 お出掛け有難うございました。政治経済も不安定かと思えば気象まで不安定で今日は風邪も冷ややかで午後は夕立ちです。晩霜いつまで降るか、困りました。

今日は昨年より二三日早めて四国稗を苗床に蒔きました。午後は夕立がきました。ご一緒した同僚の方(滝川さん)にもよろしくお伝え下さい。石川の白峰の隣村の方とは驚きました。でも妙な縁です。四日は友人の中川園へ石川の方が来る由、きつと雑穀関係調べかと話しています。

53 (5/12) 連日の雨で、雨日は休日で晝寝をしたり、読んだり書たり、又知友を尋ねお茶呑です。先日のあの葱は、埼玉の根深一本葱で大きく茎が白く長くなつたが堅し。暮から正月用で分けつあまりしません。夏葱には京都九条葱がよし 関西は葉が好み 関東は茎の白いとを好です。薬味の細葱を昨年求め細く分けつ旺盛です。

最近野沢菜が作りだされ、これは丈夫です。甲府方面の秋蒔きの地菜と呼ぶものと同じの如く 岳麓の鳴沢菜同一系の如し。・・・若い頃は野菜に興味があり、西原でトマト・血球白菜・キャベツも最初に作りました。オクラ・西瓜・路地メロンも作りました。落花生も、考えてみると古い西原のものは絶えて改良されたものばかりです。以前、信州開田村の原種に近い信州大根を作りました。小さくて堅い大根で漬物には特に特色がありました。モチトウモロコシこれは黒くて甲州種より粘り味よし 収穫率悪かった。

54 (5/25) 鎌倉のみやげ甘し 青葉あめ (孫 鎌倉・横浜に就学旅行で) 滝川さんがお便りと小誌「白山の出作り」を贈って呉れました。

ご依頼の件、調べて見ませう。最近はお歩いて人と接する機会のない生活で、土地(西原)の事情は暗いので、十月面談の日にきつと適当な家もあるでせう。・・・

六月は私の友人もわざわざ全国大会で岩手花巻に泊りでせう。北陸の東尋坊から九谷焼の観光に行く友もあり。十八日 四十年交友の農人ですが黄綬褒章を受章に上京。五月六月は猫の手もかりたき時期ですが、私は黙然と自己の道を行くのみです。

55 (5/28) 今日雨です。廿六日 郭公や時鳥が来て 松蟬がはじめて鳴きま

した。

朝日岳（秘境）三面の条件は鳥兜山麓と同じようですね。・・・昔この山麓

では小部

落が飢で死絶えたこともある由、昨年次男がこの山に登り、よくききまし

た。それ故

に珍しく日本で唯一の粳キビが残っていたのでせう。・・・三面にも古い食

べ物や作

物の種もあるでせうね。興味の地への探訪ですね。・・・西原も秘境に近い

が、約一

千米の山を越えると四方が隣村です。昔は隣村に行くにみんな峠を越えまし

た。

白山麓 白峰尾口等とも条件が似ている点があり、同一のような事がよくある

ようで、

四国の剣山や石櫃山麓も調べると同一の事が残っていると思います。 晴れる

と忙しい

日が続きます。

56 (6/12) 六月は 白の花 心にも咲く

奥三面よりの細々の見聞 有難く拝読いたしました。写真まで添え 秘境を心

で描いています。東北は未知で小学校時代に習った記憶が浮んで来ました。

朝日岳裏の山形で、最上川上流近くで出羽三山も山続きと存じます？ テレ

ビで今日は水田の無い桧枝岐村を見ました。東北は広いので八甲田山周辺、

岩木山周辺、八幡平等の産地や白神山地などには 未知の世界が残っていない

でせうか？

さて、ふる里を湖底にの悲惨は 近くの奥多摩湖で私も見聞しました。三面の

人達にも同情できます。大小でこんなダムの為の出来事は、まだ続くでせ

う。生きる為に人間は、自然の法則を狂わし、自ら不安を求めますね。気象

の異変も争乱のもとですね。

三十日降雹より十日雨もなく高温でしたが、九日梅雨入りから低温で 霖雨二

日目で明日も駄目らしい。五日六日 山畑の斜面にある自生に近い茶の葉を採

集で 足腰が悪いので疲れ果てました。以前は自分で製茶しましたが、今は製

茶所に依頼です。お茶と煙草が唯一の好みです。本年は伊豆の新茶を四月半

ばに呑みました。はじめて四月の新茶でした。

いつも写真撮って戴き 良き記念ですが 段々老けてゆく姿は感無量です。

好々爺になりたいが及びそうにありません。

57 (6/19) よし悪は別として 田も蚕も麦まで捨てた私は、雨の日は静かに休

息、家居のみです。岩手まで行った友人達（山葵屋さん）は、広大な水田に

驚いていました。・・・西原と対照は無理ですからね。井蛙の私も未知の

東北に急に興味を感じ、先日はテレビで白神山地のブナ林を知り、特にブナ

の効用の偉大さを知りました。上野原町でブナの自生は西原地区ですが、今

は絶えようとしています。奥会津の桧枝岐村には西原の一五〇年前の如く栃

の原木が沢山有て今 木鉢や白作りが盛ん。西原で実なる大木は何本かになり

ました。

日向の山畑の早掘りに適す馬鈴薯畑に、一ヶ月前から猿らしい奴が喰いに出

て荒れています。初めてのことで、それに雉やコジュケイの鳥類が発芽した

作物を荒し弱ります。ところが沢山例年はきた燕が 本年は見えぬので調べる

つもりです。 近日四国稗定植です。・・・夏ソバ花盛りです。

58 (6/27) さみだれの やもうともせで 薯病める

（埋文センター遺跡庭園の）四国稗の苗発芽不良で不足の由、沢山苗は残つ

ています。乾燥すれば発芽悪き故 直播きはせず移植になったと思います。今

世界で栽培しているは八割が移植の由。苗代は蒔くとよく踏みます。そして

乾燥の時は水でもかけて湿します。私の苗は、五月二日蒔きで、理想では六

月中に定植、遅くも七月二―三日迄。私は六月二十一日定植、苗は二割使った

だけで大量にあり。定植頃降らなかつたら苗が送れたのです。雨の日でも持

参ならば取れます。ここで一日は秋になると三―四日の差になり、大切な時期

です。四国稗は遅れても穫れますが、多収穫は無理です。

とうとう馬鈴薯に疫病発生、既に全滅の畑もあり、日照不足低温はやむな

し、まだ広がるでせう。

59 (7/3) 花栗や 心もむなし 雨つづく

中川園も農家で只今は忙しく土、日は勤めの長男をふくめ農事で、現在、私

の四国稗苗もまだ植えられぬ有様で、七月二十日頃から受け入れ体制で 学生

など団体客の折は人を頼みます。現在は準備期です。大麦穫り入れ終り、小

麦はまだの由です。

60 (7/11) どくだみや 梅雨の晴れ間を 釈然と

平野田へ二年振りです。秘境のような趣に驚きました。白いどくだみの花はすべてを代弁しているようだ。

以前は七月お盆ですが、近頃は八月です。梅雨末期は出水することが有り、盆水という。これから薯を掘り、小豆を作るが忙しい仕事で遅れると霜の早い秋になればだめです。七日燕が来ました。(例年なら)四月末から五月に来るんですが。

61 (7/18) 冷夏かな とうもろこしの 花さかる

梅雨が長びきますね。十六日はお寺が八月盆で忙しいため、毎年七月盆(一ヶ月前)に檀家の総代・世話(役員)で、原島氏は寺の会計です。当日は同席でした。盆の施餓鬼で、本堂で涼しいというより寒くなったのは全く初体験です。

小豆予定通り作れず、本年も昨年の如く凶作(五割方)でせう。低温の夏で暑さ知らず、軽井沢かどこかの別荘暮らしの如くで、今朝も高原の如く霧が一杯です。

62 (7/26) 沙羅散つて 炎暑の夏 来たりける

鈴木昇さんの事はじめて伺いました。真の農人のようですね。雑穀普及御礼申しますそれが私の願いです。

喘ぎつつ 小豆蒔ける 合歡の花

空畑はありますが二十五日小豆は終了。もう時期遅れました。

63 (8/2) 山百合や 土用出水の 山の村

関東は二回の台風之余波で出水になり、都内も雨量は稀なようです。

当方八月お盆で出水も珍しい時期でした。雨つづきで仕事はやれず、テレビを見ながら晝寝で、読むことも書く元気ありません。昨年夏の型で、夏ソバはまた不作、小豆も蒔き遅れ、霜が早いと是も不作です。戴いた山形の菊は手入れ不足で不成績です。然し十分に増やしました。昨年求めた黄色の食用菊は、早生で花が開きました。日照不足は農にはつらいことです。ともあれ何もかも雨が長く、熟した南瓜やトウモロコシを取にゆき食するがやつとです。問題の粳黍は出穂始めました。五升収穫できれば念願の桃太郎の黍団子が造れます。四国稗も元気で茂り出しました。穂揃いが九月一十日迄なら実が入ります。ともあれ何もかも雨が長く、熟した南瓜やとうもろこしを取りに行き食するがやつとです。

蛍飛ぶ 鶴川ダムの 噂たつ

町に工業団地が造られ、水源確保に鶴川ダムの話をはじめました。西原か隣村ですが、また水に沈む何軒かあるでせう。隣村小菅では観光に縄文を村に作る計画の様です。

64 (8/11) 私は十二月の結婚で、本年十二月満五十年(金婚です)。末子で

準養子により少し遅れた妻帯で、子供も遅れ、長男は四〇才の折に生れました。二十四才で父に別れ、十年後母を失ふ。後、病身な兄弟夫婦を助け、小学卒業後は家業一途、應召中に家は類焼(昭和十九年)然し努力、結果、四十三年目に家完成、五人の子供も無事成長今日に至り、降矢家の中興を果す。西原の野生児です。

昨秋戴いた菊を見て、その大きさ及び肥沃な地を見て、山形の豊かさが想像できます。旅も見学にも経験がないので、その土地の代の作物や木草存成育の話で想像しています。

賀曾利隆氏はバイクで日本一周に今日出発です。帰ったら、また私に何かを教えてください。次男、鹿島建設に勤務は、休日にはよく登山をします。七月の終りには山形の山に登ったようで、・・・

立秋から七八日頃より秋ソバ、白菜、大根作りで、日陰はそれより早く作ります。・・・稗キビ、穂揃が近く、九月上旬は収穫。モチキビ出穂はじむ、粟はまだで、もろこしは少し蒔が遅れた故、二十日頃出穂か？四国稗は九月一〇日に穂揃になる予定。お暇ができましたらお出掛けください。

65 (8/21) ゴキーンと 玉蜀黍を かいて籠

猛暑が続く作物まで被害が生じたしたら、台風之余波で又不安定な天気になりました。四国稗出穂はじめました。粳黍は穂たれはじめました。他の粟、黍も出穂はじめました。遅い蒔だった(穂)もろこしはまだですが、間もなく出穂します。昨年より草丈は短いです。昨年に似た天候でもやや日照時間が多かったということとせう。

八王子の鈴木さんと雑穀の話でもしてみたい。老人連中は頑固な一面があります。それは時代と教育の精でせう。

長いお盆になりました。十三日に次女一家が五年振りに来ました。信州安曇野に住む、忙しいので一泊。次々と子供が来ました。帰りきつたら雨になり、大根を作り損ねます。白菜は苗に蒔き、秋蕎麦も是からです。八月一杯は晴れると暑そうです。仕事をする時間は尊いです。

66 (9/1) 滔々と鶴水流る 夏終る

台風一過 今度こそは快晴かと思いましたが駄目です。山梨も甲府周辺は果樹王国ですが、西原は日照時間みじかい土地で果樹類も、なつても甘味の乏しい土地です。

さて、今夏の度々の大雨には閉口です。暑さと大雨で遅れた発芽したばかりや蒔たものはよろしくたたかれ不良です。恰も春の黍 粟 もろこしが降雹にたたかれたと同じ型になりました。(穂) もろこしは遅れ穂の出の一番柔で頭の重い時なので全部倒伏し、折れてはいないので起して四株位ずつしぼりました。成育が遅れ、完熟が心配です。黍・粟は無事、四国稗は穂揃で良好です。全く時代に疎まれ天候には阻れて 百姓はみじめです。秋蕎麦は早蒔は雨にたたかれ、遅れたのは発芽はじめた処を鳥に荒され、又秋蕎麦も見込なしです。・・・

東北には私の心をゆさぶるものがいっぱいです。紅花のロマンもその一つで、鉢にでも作りその花を一輪でもいい、実物にふれてみる事が出来たら感激です。

67 (9/8) 名月の 間近となりぬ 露しろし

蒔た翌日の大雨は、全く発芽が悪く、みんなが蒔直しをしています。私も急で蒔ては雨にあい うんざりしました。四国稗は穂揃いで見事です。梗のキビは実が入り、モロコシも八分出穂です。

紅花有難うございます(私の実家は山形市近郊の高瀬で“紅花の里”で知られる。盆に帰省の折、降矢さんへの土産の種を調達してきた)。来年は作れるんですね。

元気のいいのは里芋ですが、子がふくらんだかどうか、月見には掘ってみたい。九月はお祭りの月で、でも過疎地ですからさびれる由。

十月になり暇でしたら、芋煮会用の芋を掘りに来ませんか、沢山作り食べきれぬ程あります。・・・十月一杯 霜が無いといいかと願っています。何処の畑も草です。始末ができません。

68 (9/20) 強い残暑も彼岸に入るので涼しくなりそうです。

蕎麦の花が盛りになりました。例年より一週間くらい早いです。昨年早い降霜にこり、みんな早く蒔きました。初ものを食べたことを書きます。九月九日重陽 早咲きの花菊を食べたが、旧重陽でないとい味も悪く香も劣ります。

十四日月見、枝豆、里芋、さつま芋を供え、十五日敬老の日は青しそ大根おろし 柚味噌也。十六・十七日は秋まつり 梨です。次に昨秋戴きました故郷里山形の菊(モツテノホカ)が咲き出しました。早生のようです。黄色と思いきや桃色のようです。

妻が暑さ負けでこの一と月は休養で、独りで野菜作りでしたがもう本復。黍の稗(秋山郷種)も糯種も収穫し、粟、もろこしはまだ也、四国稗は熟はじめ 豊作型で実に良い出来、十月半の収穫でせう。

お祭りも、小学運動会(十七日)にも行かず、訪れる人もなく 黙然と独りお茶を呑み煙草を吸っている。秋の虫の音(声)のみです。四国稗鈴木さん不知でせうね。冬は製粉にしたら差し上げてみようか？

十一月二十三日 第三回雑穀研究会 招待されました。場所は桐原です。

69 (10/7) 草刈らばあまた野良着へ 草の実は

小豆、粟、もろこし、四国稗もみんなできました。早蒔の部はソバが取上り、二十日過ぎまで霜が降らぬと昨年より上作です。紅葉が遅れそうで、それ文暖かい訳です。

老令化したら干柴や草刈りがはかどらず、まだ沢山あります。曇日には草むらで晝でもカンタンや草ヒバリが鳴きます。秋の柴や草刈りが来年の作物の肥料原で 私の作物成績を左右するのです。今ではこんな方法は私のみです。尾瀬沼の登山口桧枝岐村はソバ食料原の由、テレビで作り方を見て試作してみました。

70 (10/16) こおろぎや 夏もあつたらう 今の老

月末 鈴木(昇)さんとご入来の由、知つての通りでご歓待もできませんし、西原も取り柄のない処ですが、私は都合は悪くありません。ご遠慮なくお越しください。里芋でも掘って置ませう。

今までは霜がなかったが、昨年は十三日で 寒波が十七日頃の子報 霜が来るか？あと一週間遅ればいいですが、柴や草は今月では終りません。夏からの雨に祟られました。今日は西原地区の敬老会(九月祭りで延期) 天気が良いので妻を出席、私は草山でした。

71 (10/24) 鈴木さんのご行動お知らせ戴き これほど有名人とは思いません

でした。何だか逢うことが苦手になりました。世に出たことも無し、生涯を無為無名で終える野生児ですから。

芋煮会を催され、是こそ有意な会で、今どき尊と申します。天氣が悪かったら（日曜）前に掘って置きます。蒟蒻玉も支度しておきます。霜が平年並みに来そうで、今年はソバの実が入ります。二十日（土）中川園に千葉・市川生協一行（男7・女18）が一泊して、栃餅をつくやソバを作るやら、私も招待されて食べたり話したりでした。雑穀に憧れがあるんですね。

72（10/30）ハラハラと落葉す山草刈て

菊日和でほんとうに好日でした。皆様お忙しい中お越し戴き御礼申し上げます。沢山お土産迄ご持参下され、当方はいつもながら何の風情もなくお詫び致します。鈴木さんたちにもよろしくお伝えください。永い人生の経験者は話に興味があります。紅花の種有難う存じます。来春は又楽しみが増えました。日和が続けば秋も良く。

73（11/7）（この便りは、別人宛に書いたつもりが、私宛になって・・・）

木枯らし、初霜があり、お変わりありませんか？・・・十一月五日晝に帰る前の坂道を登って来ると、目の前の影が背をかめた亡父の影で愕然としました。見れば見る程、自分の影というより晩年の父が俯でした。落葉の道で亡父に逢う、流石の私も吐息して、心で父に縋りたい気がしました。父と子の情でせうか。

74（11/8）しぐれけり杖つき歩く落葉みち

昨日な葉書は小俣光雄氏宛の内輪のものでした。先に表書きを二回書き置いた為の間違いでした。とんだ失礼をお詫びいたします。小俣氏は二年がかりで他二人と甲斐百山刊行した友人の一人です。

三日好日の秋空の下で芋煮会はご盛会であった由にて、何よりとお喜します。山形風の芋煮会つづける事を期待します。野人の私は野趣の加わった事に感動します。鈴木さんも金子さんも満足であれば良かったです。貴重な一日を無駄にしては済みません。人と人との出逢いは妙なものです。私も健康にもどれそうです。

75（11/16）急激な逆転で真冬並みになりました。今日もしぐれています。何

なす意欲も無く、炬燵で黙然としていて孫達三時頃迄は帰らず、丘の上の一軒家という静かさです。短日で・・・不順な天候は僅かな収穫物の整理もで

きません。金子さんから記念の写真とお便りを戴きました。みんなふる里を離れた生活ですね・・・私には対照がない生活で、せめて季節感でもと菊花を食べ・・・薺（ナズナ）の浸しものをと摘んできました。ペンペン草で知られ、好は私丈か、一寸芹の味がします。紅花の浸しとどう違うか楽しみですね。二十二日は雑穀研究会の座談会に招待、学者たちの集りでせう。廿五日は河口湖の農友授章の町主催祝賀会に招待されましたが、まだ健康正調で無く、缺席することにしました。岳麓は雹が降ったらしい。是からは南面の日を楽しみ私です。

76（11/28）小春日和も崩れそうです。・・・私は幸か不幸か野育ちで、自分に厳しくしているつもりで自己主義な頑固者です。・・・私の方へ飛んだ

ご心配をかけ有難く存じます。私は体質が弱く血圧は低くアレルギー性で胆のう欠如です。それに頭の網膜（？）も異常か頭を暑さ寒さから保護せぬとやられます。廿九日頃は季節外れの暖さを怠ったため、一般の方々より衣食住全てに注意したいんです。

第三回雑穀全国研究会は、私は会員外で本座談会に招かれ坂本寧男先生の「インド亜大陸調査の概要について」をスライド併せの話を聞いてきました。関東山地の雑穀は西原が中心の如くで、世界でもそう認めています。送り迎えの出席でした。いずれ

77（12/8）星食った式日の月は細かりし（式日の金星蝕みましたか）

四国稗の脱穀だけが残っている。腰痛に寒さききます。四国稗は飼料にならないか、肥えた鈴木さんの畑では実はどうか、草丈は凄くのびて、飼料用によさそうですが。

柿類はならず、山芋を掘ると是も駄目で、九月に葉枯病にかかったコンニャクも凶作で、豊作は四国稗だけらしい。十月頃は山の温泉へと思ったが実現出来ず、「旅」どころか近頃土地の様子も知らず、家居の身でもテレビでいろいろ覚えます、ここまで今年も来ると来春に夢を託して、自然と共に冬眠ですね。

平成二（1990）年 降矢 80 歳

山河春 暦日むなし 山居かな
山河春 賀客もなくて 山居かな

78 (1/17) 九〇年代はどんな変化があるか、思想も経済もむずかしい時代になりました。私は雪がないので、正月も、無休で人目につかぬ南面の日向の山畑でした。松がとれてより堆肥造りで春肥を十分確保しました。十六日より待望の雪二〇センチ 是から私の正月というか冬眠です。日が延びたです夜明けが早くなりました。寒さはこれからが本番かも知れません。雪で風邪の流行も鎮まるでせう。

方々で遺跡が発見されますね。雪で久々で筆を執りました。どこへも出掛けなかつたが、友人でも訪ねて 稗粥(方言でヘイのケイ)でもご馳走に預かりたい。

79 (2/14) 如月の 西原山地 雪尺余

冬眠の 吾もはい出ぬ 春一番

実は一月十六日 年甲斐もなく、前の坂道の氷上すべり転んで左腕を脱臼骨折、三十年振りで医者通いになりました。寒さとギブスで着物も着られず、毛布と着物をかぶり炬燵にもたれ日夜もなく寒中鍛錬か襖か、天罰か 冬眠の虫か やつとギブス半分とれました。寒も雪も峠を越え温和になり、四週振りで筆を執りました。ギブスの重さで右手もひかれて字も書けずでした。至極元気ですが、運動不足か体調調整わずフラフラです。是から本復に専念です。遠からず離床します。

80 (2/20) 残雪の 坂道怖し するするり (当日の句です)

一月十六日の雪から一ヶ月 晴れた日三日位で 雪と雨で三〇日からひと月の積雪四〇センチ強 四〇年振りで。近頃は気温上り霰になり雨が降り北面に僅か残るのみ。赤米のこと蘇のこと 私には未知の事のみ 金子さんの熱意に敬服、良き同志に恵まれ何よりで、醍醐味の由来でせうか。私は空白の一ヶ月になり、雑穀も収納のままに精白にも製粉にもせずそのままです。

ギブス半分とつたのみで、不自由で週に一回の通院は妻の付添です。先週妻と四一五年振りで街を歩きました。丸でムジナか狸の夫婦のようです。三十年振りの医者通で、何と気丈でも強情を張つても駄目で、一変に四五年老けましたね。脱臼は本復返手間どる由、後一ヶ月で馬鈴薯作りですが、それ迄に鉄が握れるか、これから体力気力をつける事に専念です。全く一ヶ月の空白で 楽しみにしていたんですが、冬眠同様の生活でした。老人は駄目なものです。

81 (2/24) 天罰の拷問だったか、ギブス昨日とれました。寒中鍛錬終りました。ご心配かけました。三十年の修理、ネジも鉦もゆるんだ感で体全体が衰えたようで、四十日近い空白で 今後ボツボツ鍛錬し鉄を使える日いつか経過次第です。 昨電話戴き、テレビで多摩ニュータウン見ました。広いし、都内からは私の思った通り遠いですね。鈴木さんの子供達と乳しぼり、童話の国のようにほほえましく 楽しく思います。よき人柄ですね。三十年前の大病の時六歳だった末子が、三十年後の今日は Y銀行の T支店で支店長代理を命ぜられ(一月)・・・中銀で最年少の代理らしい。 次男は K本社に二十年 八王子周辺では遠いといつて、五月にわらび市の新設マンションに入居です。この方にも一度見に行きたい。父の背中を見て育つた子供は一人前になりました。

82 (3/3) 型破りの天候 私の初体験です。五十日に近い雨期とでも言いますか、一月半より三月へ 平年は雨の少ない時期です。私の脱臼も快方です。

先日金子さんよりお見舞いの芳信戴き、・・・落川遺跡も関東に珍しいことを証明ですね。考えると私も赤米は古代よりのもので、今日日本で何か所か神事に作っている由。身近で古代式で赤米を試食、弥生人の時代を身近に感じます。・・・雑穀も収納したままで、一月半より二月は暇な時期なので、製粉や精穀をと楽しみにしていたのを、私の不注意の脱臼と天候が一致し、乾いた穀物も晴日に乾し直さねばと思います。・・・

桃の節句ですが今日も亦細雨で・・・四十日 友人とも語れず、又週に一回町の病院に老妻の付添で 半日がかりで通いました。デット耐えた精神修行です。八〇才にて新生再起に挑戦です。果たしてどこまで出来るか。

83 (3/11) 今春は調布の末子の処へ二三日泊つて、深大寺や小金井の学芸大の農場や日野周辺まで一度探訪する予定でしたが、末子は二月甲府へ転任しました。是も水泡です。 西原の山地も彼岸が近づくと北面にも日ざしが当り明るくなります。ここ畑を耕す人達が目立ちます。 四日は左腕をいたわりながら、露の臺でも摘んで来て侘しい早春を讃えよう。・・・何か失意の春ですが、五月半頃はご都合してお出掛けください。 筍もカタクリも咲くでせう。 只今は露の臺が盛りです。

84 (3/20) 縄文の 雑穀(くさぐさ) つくり 後の世人

平年より季節は進んでいるが、ここ寒さが戻り鶯はまだ鳴きません。．．．然し盆栽の富士桜近日咲き 是は早し。 左手すこし使え町へ独りで行けませ。再起するには体調を整備に切りが無く、外科と齒科で視力も悪いので、この方とも思います。三十年間放任の体は、修復が大変です。 甲斐に転勤した三男（末子）が迎えに来るはずで、住宅の近くが湯村温泉で湯治と思います。．．．帰宅すると春野菜作りですが、整地はせず種だけは落したいが？可能かどうか、五月頃迄は無理かとの思います。．．． 古代の赤稻（あかごめ）畑で作れたら 貴重な種でせうが、お分けください。私もし駄目でしたら友人に依頼します。生きる限り、私の生き甲斐かも知れません。

85 (4/2) 三月廿一日子供が迎えに来て、妻と出掛けて子供の処へ五泊、塩山市一泊で廿七日帰宅しました。甲府市も僅かの間に変わり、丁度桜が満開でした。花・人・老人には．．．保養より疲れが多きい。左腕の為の湯治が望でした。急に治るかといつても無理でした。再起に努めています。花は早い廿一日鶯の声を聞かずに出かけ、二十四日武田信玄生誕の山奥積翠寺で初めて耳にしました。今年になり八十日も農事は空白です。帰宅すると、鶯もみそささえも鳴っていました。草花の観察は苦手ですが、拙宅に一株カタクリの花が咲いていました。植もしないが自生したのです。四月半頃と思っていたのに三月下旬に咲きました。当方ではホケキョウ（鶯の意）花と呼び、鶯の鳴く頃咲く為か、本当でした。近頃は方々から採りに来て、眼のとどく処でないと駄目です。

南アの山々は雪が真つ白 特に甲斐駒の雄姿と桜花の満開の対照は、印象的でした。

86 (4/10) 牛鳴いて 桜咲たり 川はさみ

八日は午前雨が結構降り、午後晴れ出したので三頭荘の川の桜花を見に行きました。八分咲でそばの御嶽神社のお祭りで、桜の下の行灯を子供灯すらしなかった。西原ではここが一番桜が数多い処です。寒波来て霜が降りるので紅花、いんげん、とうもろこしも十五・六日頃に作ろうと思います。 何しろ左腕はまだ不自由で現在三ヶ月経過、後三ヶ月で再起できるか、今耕さず不整地で馬鈴薯、大根、菜類をば 花をみても芽吹く木をみても浮きません。人は弱いものです。桜は例年より五六日は早い、カタクリほどの程度か一株自然生の家のは散りました。山野を歩く元気なしです。 十四日（土）でもいいが、山菜もまだ幼いし五月半は好期です。皆忙しいが、暇は私丈です

ね。

87 (4/19) 片栗や 友の来ぬ間に 花萎む

とうとう金子さんの見えぬのにカタクリは花が終わりました。何の花でも花は年々同じでしょうが、人は年々同じにはゆきませんね。 七日の土曜日は好天でした。十四日も小雨が七時頃止み、後は終日曇って一寸蒸し暑い日でした。夕方より霧です。丈夫な人は皆忙しい時代です。．．．

鶯は五・六日遅れて鳴いた。馬鈴薯 早掘り用を、苦勞して三月十六日に作りました。まだ地上へ芽出ず。掘ってみると芽は地上出る寸前です。鋏も自由に使えず、筋力の衰えた体調は 再起は仲々です。旬の先裁ものを僅無理して作ります。 八日に半日の雨で風が毎日吹いて、畑はカラカラで困りました。カラカラ天気からぐずついた天気で温度は低く、晴れると霜です。500〜1000米級の山頂は雪も降たでせうか霧で見えず 蒔ても作ても是では遅れます。五月二日（八十八夜）はすぐです。気がもめますが、左腕まだ不自由で、予定通りいかず。

コブシの花が沢山咲きました。西原には無く、岳麓の山野に自生を移植、この花が多い年は岳麓では馬鈴薯が豊作だという。 十七日仲間とやつと黍の稗の粉で桃太郎の黍団子の試食をしました。特有のいい味です。やつと私の願が叶いました。一寸仕事すれば疲れが大きい。

88 (4/28) 大形連休は故郷へご帰省でもなさいますか。．．．

金子さんより赤米の種子、二月十七日（土）の赤米に関するコピーも戴きました。 再起に努めています。厳しい道です。天候不順と共に作業は進まず、ご恵與の紅花も下旬の蒔付けになり、赤米は二十七日でした。耕土が荒いので成功はむずかしい。田は捨てました。畑を耕すことが実に負担で、僅つづけると左腕や足腰が痛みます。．．．私は連休もなく、晴日であれば何かをやります。自身を振り返ってみれば 虫の一生の如くで、生くることは辛いです。

89 (5/4) 若葉風 友へすすめる 黍の餅

本年は空白が続く、再起に努めても、実のりは乏しい私で、それが老人というもののでせう。珍しい五月の低温、自然界も私の如く病んでいるか。雨が降ると私の連休です。 府中の明神様（大國魂神社？）で末子は結婚式を挙げた折に府中に行きましたこと有。 地温が上らず、発芽悪く、発芽したものは霜にやられ、紅花、赤米、試作自信

なしです。・・・耕すことが実に負担です。体にゼイ肉ばかりで長い運動不足ですから。

90 (5/22) 行く春や 苺もぎたる 落の葉に

春怒とでも表現したい日頃です。元氣ですが、腕の痛、痛風で足腰も同様で雑穀の蒔付けが進まず、雅友から最近の便りには一句も添えぬがと問われます。句作りどころか、心さへ平穩を得ず。久しく世間の人達とは語れずです、と答えました。本年は立夏(五月六日)頃より氣温も雨も適切で、発芽はいいが玉蜀黍の発芽を鳥にねらはれ、かかしや網を張り防いでいます。三頭荘付近の山畑迄猪が来て暴れる由。

次に13粒の黍粳が話題になり、朝日新聞甲府支局より廿日(日)に、知友の案内で取材に来ました。畑を見たり二時間半くらいかかりました。桃太郎の黍団子が飛んだ方まで發展です。地方版ほどの程度發表されますか。ここに至ると、もうどうにもならず、反対もせず賛成もせず、只流の如く行くままです。無名の農人は表面化せず、黙々として篤志家や理解して下さる方の賛同を得て、確信する道を歩むこと正しいのですが、私の事は学界では記録して下され、雑穀の種子を保存しているようです。今更新聞で取り上げなくともいいです。私も後二・三年続ければ沢山で、終りにしようと思っています。私の使命は達成し、国内へ可成拡がったようで、もう雑穀の種は絶えぬでせう。

91 (5/29) 落の葉へ 苺もぎたり 畑かえり

郭公よ 里芋の芽が 生えてきし
「雑穀のすすめ」、ご高説拝読しました。私にはいい勉強になります。西原の雑穀を深く且長い間研究の第一人者は、学芸大の助教授木俣美樹男氏(現農博)であり、学界に發表されていて私の長い知人です。

芋煮会の件、雑穀食のこといざれ申し上げますが、期日は十月半が良でせう。参加人数の予定をお知らせ下さい。
再起に努めても、こわれたものは駄目です。まだ雑穀作り遅れたものもあり、努力してはいますが痛や疲れて書くこと読むことの元氣もありません。然し降らぬ日は畑に出ます。草が急にのびてきて、仕事は更に面倒です。

92 (6/2) ジャガ薯や 花咲く畑に 更衣して

紅花が十糧位になりました。間引きして一本立ちにし、間引きしたのを浸にして食べる予定。ジャガ薯は四月が不順で遅れました。半月後に試食予定。

シコクヒエ半ばに定植予定、粟や黍まだ作り切れず、夏小豆も時期がきました。本年は苦戦の毎日です。山畑に猪が出て、ジャガ薯が全滅の畑もある由です。玉蜀黍の発芽へ小鳥が掘って五月末に蒔はだめです。五月二日朝日地方版へ發表 私は読者でないのでもまだ見ません。

93 (6/13) (6/2付) 朝日新聞山梨版「桃太郎のキビダンゴ」掲載記事同封)

入梅になりました。・・・月はじめ晩霜で被害があり、お茶(自家用)を作らぬ家が多く、製茶所が終るといっているので慌しく茶鉢を嫁と妻と三人で致しました。茶畑のないので、山畑の隅や土手等の足場も場所も悪いので大変やつと集めます。腕や足腰が悪いのに無理が祟り、疲れと痛で以後健康を害し、寝込みはしません。仕事も進まず、筆も執らず、朝日新聞へ發表された直後でした。十三粒ほどのキビ 桃太郎の団子は人気だあったようで、コピーが田舎は難しく、仲々お目に掛けられません。

疎まれて生涯を無名で終ろうとしている、八〇の老人と拾い上げても有難迷惑です。今後 自粛反省せねばなりません。私は以前より学界で認めて貰っている事で満足なのです。マスコミも飯の種を求めているのでせう。
・・・忙しさ疲れて友人中川園を二ヶ月ぶりで尋ねました。芋煮会の件、一泊を依頼 承知して戴きました。二〇名位は都合できそうです。雑穀食は粟飯、シコクビエの持ち位でいいですか。都合できたら、一度打合せにきて戴きたいですが、芋煮会は戸外で催して、後に中川園で家(戸内)で食事、会談・・・中川園には大鍋もあります。場所を見たり、準備の手筈を定めた、忙しくともお越しいただきたい。

94 (6/25) 花栗や 四国稗植ゆ 夏至暑し

良き同志と青梅の土器焼きの一日楽しくと存じます。・・・
紅花一本一本支柱をせぬので倒れたり曲がったりで、蕾はできませんでした。近日咲くでせう。切花にもよさそうです。中川園に賀曾利隆氏二十三日泊るので夜送り迎の車で行き、氏と語る。近日、海外旅行に半年の予定で出發の由。毎日三十三「四度の暑で、一日六時間位働きますが、どうも健康を害して元氣なしで、作物の成育に追い付ず雑草も茂ります。蒟蒻芋に柴かけして、小豆作りです。人にも草木にも一雨ほしい。日暮し蟬今日鳴きたり。

95 (7/4) 花栗の 終わりととなりて 半夏生きし

昨日ははげんで、夏の蒔くもの植えものは最終期になりました。低温で霧の毎日でしたが、今日は久々の雨です。作柄は上上ですが、今後の夏の天候で（二年雨の夏で凶作）、日照の多い夏を願っています。芋煮会の打合せ並びに現地（見調）を乞いましたが、夏は予定もあり、お越しは無理でせうが、当方お盆は八月ですが、お寺丈は多忙なので、七月十五日に行事済ますので、午後当日は不在、寺に行きます。他は在宅です。都合が出来たら私の夏の作柄も見てください。

紅花もう咲くかと思うと、急に枝がのび賑やかで、枝芽少し減せばよかったです。かも知れません。痛風も痛み、暑負け、疲れもあるか、不健康で自愛専一中です。

96 (7/12) みちのくの 紅花今日 都留で咲き

紅花と ふれあうことの 有難さ

七月十日 夢の花だった紅花現実として開花しました。待望久し八十五日かかりました。厚く御礼申し上げます。西原ではじめて咲いた紅花なので、祖先に供えたり、菩提寺へ捧げたりです。

七日は朝夕細雨、日中は霧や薄日の日が続き、高原の別荘地のようで、清里や軽井沢を想像させます。作物の成育は良いが、日照不足で軟弱です。

97 (7/17) 日暮や 入道雲の 湧く夕べ

十五日にわか雨もあったが、西方に夏雲が湧き 梅雨明けが近く感じられます。夕映えも美しかった。霧と細雨も終わるでせう。十五日頃迄に終る予定の小豆作り天候と雑草に阻まれて 四五日遅れます。他は八月上旬ソバで、秋野菜―冬野菜の作る時期です。今は蚕をやめたので忙しさが違います。

日照不足で作物は徒長し、軟弱で丈が長すぎ、今後照らぬと豊作はむずかしい。一見作柄はいいんですが、後は日照の問題だけです。近年は以前より四五日は時期を早めた方がいいは判っていても、私は、本年は及びません。相変わらず苦難は続きます。他は廿九日にキミ粳出穂まだです。

98 (7/25) 炎天に 南瓜もぎたり 手へ重し

雨量の乏しい夏になりました。日照不足の梅雨から高温多照で一部被害がはじまる作物で、水不足は深刻でせう。二年雨の夏、本年は照りの夏、自然の法則を破るためか。暑さにすこし稼では水を呑み、座布団敷ては晝寝です。廿三、廿四日とひと雷雨あれど、雨は僅です。ご書面多謝 御面談の折

に

99 (8/6) 暑ければ 暑しとグチす 土用照り

夏の私の作物の様子、初めてでしたね。兎も角苦勞しての作柄で、新聞にだされたことは負担で、三日（金）にも見学者があり、この日も特に暑い日でした。台風余波で四日は僅か雨あり、葉の下はぬれず、強い日差しで早魃の手前、このままでは半枯れです。暑すぎて働く時間は僅で、恵まれた水を呑み昼寝です。明日黍網張りです。

100 (8/16) 盆水とでも云う十一号台風で早魃は終りましたが、十日遅かった

ために復活しない作物もあり、玉蜀黍、（穂）モロコシ、黍は倒伏して折れたり 散々です。畑は湿たが暑さは続き、大根等作るも発芽しても焼け切れそう。紅花の共同通信社コピー有難く、作る前に一読すればよい参考になったでせう。でも私の憧れというか夢は実現しました。日照りに種採りしました。花を一部陰干しました。茶として試飲する予定。来年は支枝をかき花を限定して大きめにし、摘で雅印用の朱肉を作り、その色を愛したく、むずかしい事ですが。台風後の処理や暑気で妻は休業、私も疲れしました。然しお盆も返上で能率は上りませんが、仕事です。キビの網張やつと終る、一週間もかかりましたが、照りと台風で収量は未定です。良き実入りは望めません。シコクビエは台風を受けず出穂中です。満足な作物は一つもなく、余計に疲れがでてきます。十五日は秋ソバ作りで蒔きました。

101 (9/2) こおろぎの 鳴く夜となりぬ 山家かな

ここ四五日やつと涼しくなりましたが、降りそうな曇立ちになっても雨は無く、台風雨風は一日だけで依然その後は雨無く、猛暑続き早魃です。黍粳収穫廿五日、照りと台風でやつと前年並でした。里芋は水不足でやつと生きています。シコクビエは、台風頃は丈短かったので無事花が終り実入り中（例年よりは十日早いでせう）。八月は健康を損ね、日中をさけて仕事をしていきます。夏カゼも引き、咳し持病も手伝って、お盆も楽しまず。家居で中川園も尋ねず。廿二日同級生死去 何やら侘しきものなり。秋野菜は何も作れず、作つてもだめです。白菜をポットに蒔て、育ています。赤米出穂ははじめたか、とても収穫はむずかしいでせう。水に恵まれると水稲は豊作でせう。陸作ではサツマ薯のみですね。紅花の種沢山とれました。日かげ干しにして花を茶にしています。

102 (9/6) 恐怖の照りになりました。日中は厳しい暑です。九月に入り流石に夜は涼しくなりました。いつまで続くかこの照りは 生活用水が心配になつてきました。例年は雨多い土地で 一夏雨で苦しめられ 今度は照りで、朝夕水を注げる畑をもつ人が秋野菜を僅かに作るのみです。秋野菜の時期は過ぎました。九月十日頃よりは、冬から春への野菜です。ネギやキャベツの苗も蒔かずです。水分を特にほしい里芋、蒟蒻はひどいです。雑穀も例年より早い収穫ですが、完全な実入りは無理です。^{5/1}黍稷 ^{8/22}収穫 ^{5/15}モチ黍 近日収穫 ^{5/6}穂もろこし 近日収穫になります。シコクヒエも十月 を待つに実入りそうです。五日珍しく細雨あり、葉が濡れた程度でした。

先日二七日の記念写真、金子さんより戴く。・・・二五日健康医学誌の安部氏来宅、十一月に古守先生・賀曾利氏を交えて一夕懇談会の予定、招待されています。他は来宅者なし。八月盆に末子のみ欠け、他は集まる。

103 (9/8) 日照も終止符を、七日曇より十時より小雨になり、切れ切れながら夜まで小雨で予報も例年の気温と雨日を示しました。遅れましたが、秋野菜や冬野菜作りで、雑穀の取り上げは例年より十日は早く、結果は悪いが仕方ありません。ご心配の里芋 成績は悪いが、芋煮会用位は充分ありますから実現してください。コンニャク芋も照りには弱く、葉枯れ病発生で凶作ですが、一メや二メ目はありますから 安心ください。薯類は、但し味は落ちるかも知れません。不自由な体で精一杯努力したが、天候では及びません。雨が来たり涼しくなると 元気になるでせう。

104 (9/15) 芋煮会の御案内状 拝見しました。関東山地の雑穀の事に至るまで詳細に及び感動です。九月十日 あれ以来はじめて中川園に行きました。体の不調と暑で八月は外出せず、私では徒歩ですから、里芋も蒟蒻もご心配なく、・・・西原で催す芋煮会の意味がかんじられませう。

蒟蒻芋は加工するので三四日前に私が掘ります。そして、中川園に届けます。・・・現在、シコクヒエと粟が残り、九月中には取上られます。日照りに強いはさつま芋、大豆、粟で、特に弱いのは陸稲で赤米は穂少しでたまま枯死で、種も得られぬでせう。田の栽培でないは無理でした。十月はダイズ、小豆でソバは花盛りです。イモ類は十月より食べはじめます。

ネギやキャベツの種を八日蒔たが 依然日照高温で発芽は望そうもなし。秋雨前線が南下で十三日午後から雨になり、雷鳴と共に珍しい雨になり、夜中

も降ったようで、十四日も終日小雨です。この雨は手遅れで 半月も前でした。今では秋野菜やソバ、小豆位で里芋もどの程度元気に戻るか、根がいたんでいるから。・・・

九月廿二日から四五日信州の松本の在に住む次女が迎えに来るので、出掛けます。もう一人では旅行も心配な体です。松本城や私のブロンズ像を造った笹村先生設計の礫山美術館、先生の作品も有り、安曇野・穂高等をと思います。

105 (9/19) (中川勇さんの便り)

前略 葉書にて失礼します。御便りありがとうございます。芋煮会の件、降矢君

とも話し合いましたが、材料は当地のもので何とかなるでせう。雑穀は豊作の様ですが、脱穀してどうなりますか。今からたのしみです。では拝顔の節 話合いました。

106 (9/28) 安曇野を見に 廿三日に来ました。思ったより広大な田で刈取りの開始 豊作の美しい色に見入りました。有名な穂高のわさび田を見、大町市の蕎麦の花を尋ねた。車で一時間 標高九〇〇米で最早花どころか刈取最中で、西原とは二〇日一ヶ月差があり 蕎麦の新種入手でまた挑戦 生きる間、私は農士です。恩師の如き故笹村先生設計の礫山美術館も探訪 先生作品もあります。信州安曇野も最初で最後かも知れぬ。松本城でも見たら九日中に帰宅したい。日照りで私も収穫はシコクヒエ丈です。快晴はなく、曇りや雨の日があり、ヤマの遠望は意の如く有りません。蕎麦の味の好い処です。

107 (10/1) 安曇野の 石佛和む 稲の秋(絵はがきに)

台風よりやっと先に信州の旅八日目で帰宅(30日正午)。安曇野の風物に接し、長い間の宿願を果しました。でも霧と曇で山の姿は仰げず、五月頃が好い由。御拝眉の節にゆずります。台風は十九号より弱く被害なし。

108 (10/9) 今日雨で仕事は山積ですが、外ですから休息です。・・・日

曜・祭日は行事が多いので八日間の信州行は崇ります。：：晴耕雨読ですが視力が弱り読書続かず、テレビを見るといふより聞きます。いかに剛情を張つても老化する体は止まりません。八〇才にして金婚式ですが、同輩では晩婚ですから私が最後です。九月廿日 三つ上の友人の葬式で、翌日は行きま

した。芋の試食いかでしたか。小さいは当然ですが多少実が入っていますか。里芋は十五夜から急に子が充実で、ここ霜の来るまでが完熟期でそれまでは葉茎が旺盛（西原のことです）。
覚悟はしていますが、ここ二三年で旅も不可能でせう。ですから春も七日、秋は八日も珍しく出歩いたわけです。

109 (10/16) 秋日和 大鍋かこむ 芋煮会（絵はがきに）

一日だけの好日和でした。お陰様で、宿願の芋煮会参加させて戴き御礼申します。ほんとうにお忙しい中をご苦労かけました。然し嬉しい催しで、どうも来年も何処で行ってください。私も是非又寄贈できるように年々老化する身を励まして努めたいと思います。・・・細雨と霧です。干柴刈で十一月迄かかりそうです。左腕が弱いので苦しい戦いですね。鶴水のほとりの楽しい日でした。いずれ改めて謝意迄。

110 (11/10) あれから私は平凡生活です。遅時の秋野菜も役に立ちそうです。文化祭にもいかず天気がよいので、エンドウを作りました。下が遅いので助かります。七日県の農業試験所より、今日になり稈黍の種を所望に出来ました。私は雨の日もあり、干草刈が終わらないので、素枯れた草を刈っています。まだ芋類は収穫していません。例年より遅れた紅葉がやつと色付いてきました。鈴木さん、金子さんも頑張っているさる御様子ですね。立冬が来たので寒くなりますね。御機嫌よう 御礼迄

111 (11/29) 柚の香や 日向嬉しく 冬である

落葉と雨で初冬に入ろうとしています。季節感は別として、ご多忙と存じま
す。遅れて蒟蒻芋掘りで後二日位です。草がでてかつ不作です。妙な事に
柿が大豊作でも採りきれません。乾柿にも限界があり、鳥の餌になりま
す。左腕の悪い私は、柿採りは駄目です。夏の疲れか 健康を害し仕事へ根気
をかけきれず。雨が降ると便りが出来ます。

112 (12/11) 短日の 霜の谿谿 霜きえず

師走になると寒い日がありますが、今年は例年より暖な日が多く、先日、小
梅に二輪の花には驚きました。・・・私は不幸者でしたから、今でも心残
りがあります。とあって、「石に蒲団は着せられず」です。

私も今年は、知つての通りの体で無理が祟ってか疲労からでせう、めまい、
耳鳴り、視力も弱く、血圧かと思いましたが、血圧は好いが神経の弱まり
と、三十年振りて医者に又服薬に町立より週に一度来診に通っていま
す。・・・次に十月より記録的な葬式数で、老人が多い十三人死亡、異常
気象の影響も多いと思う。それで私も自重して静療です。日中は軽い仕事を
運動に行っています。心配はないでせう。

113 (12/26) 夜空がきれいです。寒くなって、歳末になりました。柿の大豊作

は半分採りません。来年は又不作 妙なもんです。正月過ぎになり、本年豆類
照りすぎと台風で駄目ですが、秋の漬菜類は駄目だと思つたら、霜が十一月
二五日平年二十日以上遅く、是も珍しく晩秋の暖で大豊作で余りました。美
味ではないが 馬鈴薯翌四月頃まで使えるので、野菜沢山有り食べきれませ
ん。 十一日 三十年振りて週一回出張の町立診療所に通つて服薬で、めま
い、耳鳴りで、体はふるく、視力は弱く、年賀状やつと書きました。視力が
落ち筆の穂が見えにくく、ペンを使いますが 是も私には合いません。でも快
方に向かっています。毎日畑に出て運動に軽い仕事をして読む書も少なめ
で、安静時間にします。

平成三(1991)年 降矢 81歳

114 (1/1) むろがやの 奥郡内も 初光り（年賀状）

115 (2/13) 点滴の 水滴見入り また今日も（病院の一句です）

二月も半になりました。三月 年度末も迫りご多忙と存じます。長ご無沙汰に
なりお詫び申し上げます。十月頃より不調だった私は暮、年賀状も書き終
らず倒れて 差し上げた人と缺礼の方との区別も今は覚えすにならず、一月七
日 町立病院（町）に入院いたしました。前後四五十日間の空白になりました
た。お詫びいたします。あまり苦しい時は絶望と覚悟しましたが、私の生
命の泉枯れず、現実の世に戻りました。二十日間は寝きりで毎日点滴、妻
が傍で看護で、是は毎日となると根気のいることです。三十年振の事で耐え
るには仲々でした。点滴終りてより妻に手を執られ、廊下を歩きました。一
ところが五六日経ると左眼は白内障でせう、失明しました。右眼の視力は弱
く、いずれ体が肥立したら眼科にかかります。まだ不十分ですが二月八日退

院（患者多くベッド忙しいのです）。

片栗の咲く頃までには回復したいが、どの程度か？ 本年は雑穀栽培を捨て、無名の老人として生きるか、入用な人に分けて種子用丈でも作れるか、只今現実と幻影の如きものが脳裡にあつて、四十五日の空白は時事も不知ず気象のことも寒い年か暖か、雪の回数も不明です。テレビも新聞も見ず。幻影は最上川の紅花があり、山形の芋煮会も浮びます。私は妻が有るので不自由がなく、いづれ楽に書ける日が来ましたら申し上げます。ご判読下さい。

116 (2/20) 今の世で四十五日 何も不知ず空白である年は全く怪しい。

・・・家の周りの雪が先日の雨でほとんど消えたが、退院してから好は僅かで、寒くて病院生活の如く室内ですが、是も苦しい。読書もせず 右眼の弱い視力です。困ったことに旧暦のある小さな過構（市曆）が入手せず、旧暦がよく判らず 氣候天気には月の影響は大きく、きつと漁村では重視しているでせう。どうも例年より余寒が強いです。私の八十一での運だめして、今後どうなる事、終りか四五年は持つか。暖さ来り病後の体が少し肥立ったら、東京の立川市方面の眼科へ行く予定です。四五月頃までは仕事はせずも畑へ立ちたい。もう南面の土手に露の臺が頭をあげているでせうか？
又

117 (2/26) 式月としては稀な寒波の如くですが、廿四日は●の日思いがけぬ、わざわざ御見舞いにご入来下され感激致しました。・・・中川氏には私迄飛入りお世話を掛けました。中川氏とは小学前よりの友人で 七十有余年です。それが二人共生き残りとは珍しい縁です。ほ（ん）とうに長い関係二人です。 暦迄戴き 旧暦もあり 百姓にはたいへん有難く 視力が弱く 日数丈で他は当分お預ですが重宝で、月齢は不思議なものです。・・・私は回復が遅れ畑に立たない場合、集めた信州の早生ソバ、ネパールのソバ（三回目）の試作は菊鉢で致します。猶本年は間に合わぬかも知れませんが、徳島県に昔より作っているというキビの粳 是も実際なら作ろうと二度手紙を出し探しはじめました。生くる限り取り組みます。実在していたら信州秋山郷のものより古いと思います。自分で出掛けませんから、二三年かかるでせう。三月か四月 妻と山の温泉でと思っていたが、今年は駄目でせう。小さな旅であり、慰安ですが。

ここ晴天で風が無いと二時間位午後より畑見回りに行き、隅に一回分位の里

芋を掘りだしたが、土が浅いが無事でした。まだ他にかけすの如く少しずつ埋て置きます。

118 (3/10) 伊豆の島々、きつと意に添たでせう。遺跡展のための由、いつもご多忙のご様子。一時に急に春めいて来ましたが、季節感もよく判りませ

ん。四日玉川病院、中川氏の案内で眼の精密検査をして、ここで紹介状をお願いして、五日立川市の立川共済病院で朝より晝まで眼の精密検査を受け、手術に耐えるかどうか 身体検査をかなり詳細にいたしました。十九日最終検査で決定して 入院日が知らされます。三月末か四月始でせう。四月中に退院を願っています。昨年から散々で、春の作物は作れるかどうかです。長女が昭島で生活しているので、近いから立川を選んだ次第。面倒をみて貰っています。老人は全く厄介者です。桜の蕾が動くといふが、街の景色もだめで梅花丈感じることがあり、霧の中のようにです。当分はごぶさたです

119 (3/28) いろいろご心配に預かりましたが、ベッドが急に空きましたので十八日入院 当日終日検査で十九日右眼手術 一日経過で開眼しました。眼帯三日 点眼五回位、只今は黒の網をかけています。十六日早掘りジャガ薯作りしました。鶯の初鳴など考えてはいられず、昨年より一日早し。十七日出掛けて来ました。忍のような入院です。慰問無用です。長女が近くに住んでいるので世話になり不自由なし。左眼二十六日手術で 四月三四日頃までは退院になりませう。きつと片栗の花が咲く頃か咲ぬ日に帰れませう。季節感まで不明です。

120 (4/2) 病院の方針や私の都合上、午前中に退院致しました。早くも四月三・四日予定でした。経過良好らしいが早いために四月八日外来にて経過を診て戴く約束です。患者が多いので日帰りの予定ですので、心配です。家の他の生活になれぬため、神経が疲れきりました。長女夫妻が迎えに来て当日一路家に、午後二時半着。

気候が半日前と変わらぬ如く梅の花盛りで、鶯の初鳴きもまだかも知れず、昨年より半月位は遅れた気候です。いづれ片栗の事も調べ申し上げます。天気が悪いので、一般も農事は進みません。

121 (4/9) 四月八日経過検診、良好でした。独り歩きが無理で長男と日帰り

患者が多いので病院を一時過でした。立川は桜満開で高尾は三分、上野原は咲き出す処 小雨の中西原へ 谿谷も萌芽が美しくなります。片栗の花芽もびました。十四日か廿日頃が開花か、この不順の気候ではつかめません。八日みそさぎえが奥山からはじめて訪れて来ました。鶯の初鳴きはまだ耳にせず。農事も半月は遅れています。

まだ検診には行くのですが、日曜は休診ですので在宅しています。家に帰ると気がゆるみ、何もする元気ありません。障害半年になり老人ですから、でも街の景色もよくみえます。

122 (4/10) 九日暖になり、鶯の發鳴きを耳にしました。鉢の富士桜(豆桜)が七分咲きです。片栗も咲き出しました。廿日では遅くなり過ぎそうです。

私は病疲れか、元気ですが、何をなすべきか手を付けられずで、半年近くの空白はどうにもなりません、自然の変化も見られるので嬉しく、点眼日に五回(四種類の目薬)遠くにも行ず、近々に三回になります。是が仕事的一位です。畑は草が元気で、昨年より二年でこうまで荒れるとは、人の力は小さなものであることを感じました。視力は回復しています。

123 (4/16) 十四日は午前晴 午後より曇 三時半頃より小雨でした。西原もこの日は各所で花見だったろう。八分咲き 花の命は短くカタクリは終りのようです。萌芽が急に葉になってきました。

廿日(土)は長男に付添われ眼科に検診になりそうです。病後の為 元気ですが、体調はいまだ回復せず、まだ独り歩きは不用心で、いよいよ老化しました。畑に出て少しは仕事をしますが、よい晴天のなく、本年は駄目で六月頃になれば、体も本復するかも知れません。

雑穀は八十八夜を中心にその十日前後が時期です。雑穀の品名をお知らせ下さればお送りします。今年は全部そろっています、来年は、全部は無いともと思います。取り急ぎ、眼の方は良好です。

124 (4/22) 鶴川谿谷の葉の間の山桜、李岩からの花の眺めいいでせう。お越し戴ても今年は心忙しく、視力が回復してきても体力がカラキシ駄目で閉口です。六月頃までには本復したいものです。

125 (4/29) 廿八日(土) 立川病院に検診、晴天で街は賑やかで 鶴川谿谷の

若葉一段と茂り 農繁期に入ると他出せぬ私には眼新しく感じました。

126 (5/8) 五月は風薫とは一寸と風の寒い日でしたが、心の和した嬉しい半日でした。貴重な一日浪費したでせうが、私の生活は判りでせう。文明の時代といふのに 天保時代と同じです。心配した晩霜でなにかもやられ、これから作り直すものやあきらめるものです。秋は芋煮会でも考えてください。折を得てご入来ください。五月は半ば過ぎ、長男に付添を乞うて検診ですが、道草する暇もなしで、急行です。元気がでると雑穀作りです。

127 (5/23) (山芋に副えて) 冬か春早々に掘るべき山芋 蔓が出てから掘りました。耕土悪い畑ですから見るからにまずそうですが、食べると味は上々です。とろろにしたり、塩で煮て食べています。暖になったら忙しく疲れま

128 (6/3) ジャガ薯の花が咲き、時鳥も着ました。天氣が好いと松蟬も鳴く。

今年初夏の装いを眺めても失意の心は和まず、然し生きるとは尊く又辛

いことでもあります。検診にきて廿五日より、主治医の好意で入院しました。左眼少し故障、入院する程ではないが、検診等しげく通には不便な土地なので 五十六日まとめて処療です。すぐ退院で中川氏妻君も日曜入院で 月曜退院の由。桐原を通ると麦が熟し、麦秋になります。いづれ梅雨も近いでせう。・・・樹下石上 そんな言葉を思い出しました。

濃い青葉に交り 朴、山ぼうし、卯の花 白い花が咲く
卯の花の 病む眼へ淡く 映じたる

129 (6/16) 万緑へ さんさんそそぐ 日の光り

真夏のごとき暑さで、六月には珍しい年ですね。再三の御見舞いに忝く御礼申し上げます。・・・私は、経過は良いのですが、一寸キズが出来たためは手間取ることで、目薬を六種類五回点眼で、五十六日予定が退院予定はまだで、来週に持込ました。六月は年を通じ忙しい時期を休んでいるので閉口です。もう何も考えず、なりゆきまかせです。七月頃は在宅出来るでせうから。昨年入手の秋ソバ丈は試作してみたいと思っています。七月八月

はどんな天候かしら？折がありましたらお出掛けください。

130 (6/25) 土曜日は雨の中を大変ご迷惑をお掛けしました。老齢ですから今

更新しい知識を得なくともいいですが、多摩丘陵の広大な眺め、遺跡庭園を案内され、私の秋ソバは咲いていた、四国稗を植えて貰ったり、農人にはいい思い出です。見る者はみんな私には珍らしいんで、鈴木さん宅等は私の思う理想郷ですね。でも信念の強い人でないと満足できないでせう。菜園畑も見せて戴き、元気な金子さんにもお目に掛かれるし、良い日でした。きつとやりたいことが山積していたことでせうが、心より深く御礼申し上げます。お暇があったら、夏でも当方へもどうぞ。

七月下旬の秋ソバの試作位はできるでせう。主人が留守の畑は雑草でせう。あきらめています。人生は完成すべきでなく、未完成が常とうでせう。経過は良好ですが、来週位は退院でせう。

131 (6/26) 郷愁や 桑の実熟す 桑を見し

昨日より雨が止み高温で夜閉口です。他事ながら眼の方視力快方に向いました。絶望と思ったが治る見込みが持てます。

知らなかった多摩丘陵が判りました。この光景が時には脳裡に幻影として浮かぶかも知れません。今度は戦乱も無く、平和なことを願っています。葉師如来も不動尊も出現しないでせう。朝窓で尾長鳥を見えています。すると雀が来るのが少ないです。

132 (7/1) 長生し 眼を病み病棟 夏木立

花蕎麦の すがし花咲く 遺跡園

七月になりました。戴いた暦が使用できない年になりました。重要な夏至もハゲンも不用になり、畑は雑草群だそうです。三回目の電話をしました。快方とはいえ依然退院予定は未定です。成り行きであるがままです。淡々句作りでもと思います。次男が土曜来ました。たくましい姿が頼もしく思った次第。青蛙や蟬の声がないのも淋しい。鈴木さんの宅付近は良いでせう。雀蜂が鈴木さん宅に巣造りには驚きました。西原ではあの蜂数になるのは七月半頃です。八月になると急に大勢になります。今日は知友に便りの日です。

133 (7/8) 療友の 去り又去り 七月へ

覚悟はしていても孤独は恠しい。“母なる森”嬉しく拝見いたしました。病院でも自分なりに知識をいろいろ身につけました。昨日は天気で小金井の学芸大の農場を見学しました。木俣さんの家族と知っている間柄なので立寄り、お茶を戴き、とうとう5時間半かかりました。種子保存倉・南方植物・何でもあるようです。今日日曜日に退院と先生約束いたし、眼帯を今朝から試験にとりました。まだクモリがあります。後は私の運まかせで、何処まで視力戻るか遠き先でせう。然しこうして厚友情につつまれ幸福です。

134 (7/20) 延べ百日に及ぶ病棟生活で、帰宅しても何の意欲もわかず、左眼

は回復迄にはまだ日数がかかります。眼帯は取れましたがクモリは残っています。秋頃だと思います。紅花は虫がついたり雨で失敗。町議選で賑やかです。廿一日投票です。

135 (8/5) 私無事退院ですが、足腰が運動不足で駄目で、すこし畑にでも

フラフラで、何もできません。九・十月秋にでもなったら多少役に立つか閉口で、畑の荒れたのは仕方がないが、老齢化した自分の先が恠しいですね。眼の方はなかなか回復も進みませんが、十日ごとに二回、検診に行き三回目毎日暇ですが何の気力も生気もなく、暑を逃れ寝ているのみで、読こと書ことも気力なしです。暇がありましたらお出掛けください。

136 (8/13) 八月の天候は予測とは反対で、秋ソバや秋野菜を作る時期例年照

りすぎて困難ですが、今年も逆ですね。信州から入手の秋ソバどうにか試作蒔き終り、結果はどうなるか、紅花は作ったままの間引アブラ虫駆除もせず、帰宅してみると花が終る処で、花も採取せずそのまま刈取ると雨のため発芽していました。沢山あるので種は困らぬでせう。元気のよいは里芋丈ですね。もう今後日照りになっても昨年如きことはありえませんが、僅かになりました。御多忙の夏だったようですね。私の方は、体力づくりはなかなか眼の方も気長です。来週検診に行きます。東北地方は異常気象の如くですね。テレビを見、新聞も少し読みます。当方は八月お盆で、次男が帰省します。

137 (8/24) 夏も終わろうとして、十二号台風の余波で、大洪水でした。言伝え

に「未年の大荒れ」ということ、私は聞いています。ほんとうでした。十九日午後から降り出した雨は段々夕方より強く、廿日は朝より豪雨となり、恐らく五〇〇ミリ位の雨量だった。幸い風がなかったもので、激しい雨音のみで何年振りかの大洪水で、所々が崩れ川の増水、短時間での出来ごととしては初体験です。被害も西原としては大きかった、一日半の雨だった。お盆返上で大根、ソバを作り、十九日の午後からの雨に休養中でした。十二日天気になつたので、畑を見たり、増水の川を眺め、被害の跡を見に歩きました。停電半日、水道は一日で、廿一日はお茶も水も吞ずでした。中川園の山葵田は恐らく流失でせう。原の沖大沢はだめ様子。廿二日訪ねました。金子さん、滝川さんが手伝って植た美流沢(中川園の山葵田)は増水でまだ行けず、絶望でせう。

138 (9/5) (中川勇さんの便り) 早速の御見舞い有難うございます。幸い皆様のお出になつた山の方は、小屋の下の方は流されましたが、上の方は残っている友人から知らせがありました。宅では三頭山の下の方がきれいにやられてしまったので諦めて居たのです。なお、奥多摩廻りだと通行可能だと今夜連絡が有りました。上野原廻りは当分通れません。多少山葵とりが出来ると思います。右、御礼旁々ご返事まで、皆さまによく(9月4日夜9時記)。

139 (9/15) 夏の短い年だとゆう。秋の気配が早まるようです。萩も咲きすすきの穂 秋の七草も咲き揃ったようだ。虫の声は夜ごと増す。然し最近は季節感にも劣くなりました。夏の予定は済ませました。私は身も心も老化して了ましたが、せめて自家用の先裁もの位はと思ひまして畑に出掛けます。大根の早蒔は虫に喰われ(夏みの早生)駄目で、退院してから作ったキユウリはやつと成りはじめ(春のは終り)、丁度、秋ソバと大根を作り終つた(十九日午後より雨)。それが夕方より集中豪雨になつたんです。雨にたかかれた畑は幾条も溝ができたが、生えていました。ソバや大根です。雑草畑を手間をかけ(一年放任の荒畑)野沢菜とホウレン草を十四号台風前に作りましたが、発芽は悪いでせう。雑穀類は春―夏へ作る事も出来ず、ただ粳のキミを、妻が雑草だけ取り中耕も追肥もせず、そのままで穂がでたので網文をかけました。もう収穫できません。里芋は去年の分まで出来そうです。寸暇は有るが意欲は湧きません。

八月廿日の集中豪雨の被害の復旧は手間どり、桐原―沢渡の山崩れは、バス車の不通のようで年内の復旧の見通しはたつてないです。半分陸の孤島で長くなるほど生活へも響いて来ます。九月の秋まつりは取りやめ、十月十九―廿日 西原のふるさと祭りを本年より催す準備ですが、是も来年に延期でせう。五六日前より県道小菅―奥多摩へ通じる方は復旧しました。西原へは青梅―奥多摩湖経由は宜しいです。私もこの経由でないと車では眼科に行けず、老化しているのので 徒歩は長い里程は駄目です。そのままで弱くなりました視力は良好クモリもとりきれます。台風の間際にぼつぼつ野菜作りで、試作のソバは土砂でやられ、何本か残りました。

140 (9/22) 週一回という台風には閉口で、集中豪雨以後の台風は幸いに被害は僅で、十八号は前の半分位雨量あつたか、増水して崩れた処を又少し広げた処も多少あつた如くです。都内や多摩川は雨量が多く増水の如く判断しませぬ。どうも十月半頃までは、油断できぬ年です。日照時間が無ので秋野菜成育発芽不良で腐敗病も発生現状です。「未年の大荒れ」と云う伝承がほんとうに当りました。療養で家を空けた上に、この天候で泣き顔に蜂です。シコクビエは完熟しましたか。私は雑穀を作る暇もなく、粳のキビ丈で九日早々に収穫しました。他は来年の種用としてシコクヒエ、穂モロコシで残念なのは信州のソバ、廿日の豪雨で土砂押し流されましたが何本か残り、完熟期は判り、試験目的は達せられませんが、来年の種には満足できません。里芋は沢山収穫できますが、不用になりそうです。視力は戻っていますが、検診にも行けず、体力は仲仲復帰しません。

141 (10/2) 九月廿四日 四十日振りで立川病院に行きました。二週間位の約束でした。集中豪雨の災害はまだ復旧せず、車不通で桐原・沢渡をはさみ折返し運転で、徒歩の距離は長くて老人の私には辛い負担です。此の日は午後四時半帰宅で、翌日は疲れて寝込む程でした。曼殊沙華が草を刈つた後の土手や径に忽然と咲出しました。沿線の土手にも咲いていました。台風が一週間に一度でビクビクですが、その後は風も雨も僅で被害は加わりませんが、日照不足で作物、特に秋野菜は腐敗病などで不良です。次に眼の方は半年がかりでクモリもとれて 視力良くなりました。只 体の方は老化で、特に足腰の筋肉痛で歩くことが楽でなく、来年度どの程度の復帰が望めるか？

重要な物資は青梅線で東京方面へも甲府・塩山方面もこの道で、宅急便も来ますが前より一日遅れます。只今、干柴刈です。

142 (10/2) 当方、生活必要物資は青梅線経由で・・・不自由はなく、又、バス車は県道が不通で町や駅へは途中で双方折返しのため通勤・通学者は困難している次第で、病人の通院者は殊更です。・・・私は相変わらずの生活ですから、毎日は何の不便はありませんが、眼科にまだあと一・二回行くのが問題ですが、年内で全治します。体力は来春どこまで再起できるか？ 想えば今年は妙な年です。正月は高熱を出して幻影に苦しみ、あれ以来どうも頭がボケたようです。流石の私も限界にきたのでせう。あるがまま、なるがまままで極く自然に生きて行こうと考えています。大変ご心配に預かった年でした。

十月六日が西原地区の敬老会ですが、妻が出席 私は欠席です。十日は地区の運動会です。十月下旬から十一月月上旬迄に霜が来るでせう。天気が回復すると紅葉が色づくのですが。

143 (10/28) 刈干や えつちらおつちら 来ては刈る
晩秋から初冬に移ります。日照不足で来年への種ものが腐って保持できぬので困りそうです。退院して百日ですが、自然を親しむことも人と接することも気が進まず、独居が多のです。スランブとでもいふことでせう。だが視力が戻ってきたので、雨の日は拡大鏡を相手に読書をはじめました。私は独創性を持って何かに向かって進まねば元気が出ないですね。雨が降らぬと慌ただしいですね。それは霜や雪が怖いからなんです。中川氏は気の毒で、あまり尋ねません。それから見ると私は殿様です。精々お茶を煮て飲むだけで、他は自分でやらないです。山形の食用菊も咲いています、花が腐り好物の天ぷらもできず、ホウレン草も白菜も駄目です。見て戴いた信州の早生ソバを来年は試食するつもりです。それは元気がなったらです。廿七日午前 雨強く午後は小雨也。
刈干は乾かすための草と柴を刈ることです。是が私の農の資源で、耕土の悪い土地でも上作る得る基本です。足もとは危なくフラフラしながら。

144 (11/8) 五・六日霜 秋晴で忙々と働く。平年より霜遅いので蕎麦豊作であのネパールのソバも実入る。七日 里芋の種を埋める。里芋豊作で困りません。まだ沢山あり、他は収穫終る。八日雨 疲れて終日休養 体力は復帰せ

ず。日時は知りませんが東北へ出張の由、仙台市といふと、若い日 土井晩翠先生に師事して「強く 正しく 朗に」と揮毫して戴き、私の宝もので、今も思い出します。文学青年だった。

秋は山の湯にと思つたが、春にならねば何処にも行けず。廿日以後は地面が白くなる位の小雪が降ることもあり、本格の雪は廿五日頃よりです。三日は珍しく甲府の三男が日帰りて来ました。青梅街道を二時間です。短日、日を楽しめる日が続けばと祈る気持ちです。老妻も神経痛で腕と足が痛むので、二人でやつと半人分です。寒くなるとから元気なことで、去年は今頃から体が悪く、三回入院の年になり、百日入院となつたんです。まだ後遺症は沢山あります。◎八月廿日よりの車の不通やつと解除です。

145 (11/15) 木枯や 里芋埋め 山の裾
東北は雪の季節の如く存じます。記念の写真 有難くそれぞれの個性も面白く存じます。芥子は老化するのみで若返らず(老妻神経痛腕足痛み)。里芋の種を二日ばかりで埋めました。相変わらずフラフラでまだ沢山あり閉口です。荒廃した畑の雑草を刈ってみたり、寒くなって晴日まだ日を楽しむゆとりも無く、語る人も無く、出かける処もなし、短日心は空虚です。

146 (11/30?) (蕎麦粉に副えて) 蕎麦粉 僅ですが笑味ください。ご面倒ですが、三人前です。よろしく ソバがき、ソバ切り(小麦粉へ三か五位の割です)その他、薄焼でも、天婦羅の衣で好く(是がきんぷらです)又、小麦粉を交ぜ餅に作るもいいます。
晴天が来ると慌しくなります。干柴刈です。知つての如く今年、収穫は里芋丈で秋野菜もだめ、秋ソバ、小豆が少し作ただけで畑は荒廢です。

147 (11/28) 時雨るや 菊も素枯て 山家かな
廿日以上雨なしで、今日雨 冬耕にかかれず一日休養です。最近異常ですから予定は立てられず、十二月半ばまで畑凍らなければと思います。十月に見られたネパールの蕎麦 霜が遅く幸い完熟 全部で台風で生き残り六七十本で八合の収量あり、一部を種として、五六合でも手挽製粉が可能かどうか中川さんに聞、できたら二人で試食してみたい。食べて味により明年の栽培を考えます。他国の作物は作る時期や完熟迄の日数も不明で、三年目です。普通の秋蕎麦より、同一に作り廿日遅れました。明年は七月半ばに作ります。(本年は八月十四・五日でした) 信州早生はやつと種だけで、明年は試食

で、収量をと期待しています。是も三年目です。だが、体の方の再起が心配です。荏胡麻も絶えそうなので種をとりました。

廿一日急激な寒波にて一朝の大霜にて青かった桑の葉も落ち、初氷が張りました。雲取山まで雪が来た由です。以後初冬を感じ寒く、ご承知の畑は乾き堅くなり、冬耕は中止です。廿日頃からは地上が白くなる程度の小雪は平年並みで、本格の雪は十二月廿五日ごろです。今年どうなりますか。寒くなると腰や足が痛み畑仕事も大変で、妻も神経痛で老人は駄目ですね。

148 (12/9) 小春日や 友がおくりし シクラメン

花作りの名人よりお歳暮のシクラメンがきました。師走には平穏と思いましたが厳しい寒が来ました。私・私の二回目の大厄年だった年 自然も病み、私も病むという年でした。春よりご鄭重なお見舞いと限りなきご厚情を戴き、年尾に際し改めて忝く御礼申し上げます。．．．

只今取り上げは乾燥用のカブ菜だけ、空き畑を冬耕中で 廿日頃までは畑も凍らない予定ですが、昨年はその頃より寝込み、年賀状は三分の二位で 他は欠札になりました。是から年賀状書きです。どうぞご自愛専一、皆さまにもよろしく 無事の越年お祈り致します。本年こそはと私も願っています。

149 (12/18) 初雪の 乾葉あめる 軒に舞う

寒と疲労で休んだ由、．．．暦(高幡不動尊) 本日有難し 中川氏に届けます。 十二日の雪より朝夕は厳しい寒で凍り出したが日中は暖です。今日十七日 七十日振りでの眼の検診に行きました。左眼はまだ治りません。二月迄に又行ければいいですが、八時に出掛け 午後二時半帰宅。雪が積もると運動仕事はつづけ積ると冬眠です。何とか来年は頑張りたい。二年怠慢でしたので畑は荒れました。お暇の節にお越し下さい。

平成四(1992)年 降矢 82歳

150 (1/1) 悪しきこと 申の年なり 福が来る (年賀状)

151 (1/10) 金子さんが送って呉れた赤米・黒米の餅を頂戴しました。外出折、鈴木さん宅の田植が甦ります。

私は暮の廿五・六日の雪で早い冬籠りで、正月三日やっと雪が消え日向の山畑出ました。仕事はどうでも本年は体調づくりの年で、毎日運動兼ねての働

です。手のタコもなくなりました。手にタコを生ずる迄鍛えればと、筋肉も元通りな体になって、鋏鎌を使ってタコ無き手は赤く痛くなります。どの程度まで復帰するか。次に、山形では乾葉をつくりますか。是は寒中野菜特に青菜の乏しい折のもので、蕪菜を日影で吊し青く乾したもので、寒土地のもので、寒い程より仕上り味もその通り、西原でもまれになりました。大雪ではないが、雨雪が多い。

152 (1/29) 寒い日もあります暖冬でしょう。．．．今日 金子さん宛に乾

菜と里芋殻をお送りしました。調理法は金子さんに書きました。暇な折厄介でも西原の昔の味をどうぞ。珍しいだけで、美味ではないかも知れぬが地方色でせう。暮から正月はいろいろの人に出遭ですが、老人は見栄えがせぬ姿ですから、出て歩かず。三日より暖冬なので運動を兼ねて畑仕事です。ここ特に暖なので堆肥づくりをしました。

153 (2/21) 紅梅や 恥ずかしそうな うつむいて

紅梅がやつと一輪咲きました。式月一日の大雪以来雪も降らず、暖冬でせうが不安定な天気で、何処も花は十日位早いとテレビは知らせます。私が暇な時期は二月ですが、例年なら雪と寒で外仕事はだめ冬眠ですが、今年日は日向は地も厚く凍らず、午後からは畑仕事が続けられ、五日より休みません。体力養成を根気よくやっていますが老人の体調は戻らず、独り歩きは心配で何処にも出かけず、時々テレビで旅と時事を知る丈です。それでも生きる限り体力づくりを続ける覚悟です。乾燥した日向の露の藁は駄目で、半日陰のを探し露味噌に、生を刻んで汁に落しそのホロ苦さと香に匂の味が嬉しい。雪は北面の山、日陰に残っているのみ、日を楽しみ、そこで煙草一服はいいですね。

今度は信州伊那谷(宮田村)遺跡の由、．．．十三日は一番下の嫁がチョコを、家では甲府厄除地藏尊土産の福餅でした。此の処老人への差入れが多いです。ところが二年の空白で山畑へ竹が根を、木も亦根を張り、時間は短いが四日ほどツルハシを使って掘ったら疲れて了い腕が痛み、字がよく書けません。

154 (3/3) 雛祭りが来ましたが、暖冬といっても梅の咲き出した処です。

す。久し振りに奥郡内の谿谷を降って立川に検診に行きました。桐原は梅が三分五分咲き、駅から藤野の斜面は七分で 雑木林の梢の芽が光り出したの

を見ました。単調な生活で、自然児でありながらぼんやりしていました。幸いに雪日も少ないし、地面は凍らぬので毎日コツコツと畑に出て居ますが、体調はだめです。それでもこうして外で仕事をしていると退屈しません。待望の三月ですから月半ばから農事で、鶯が鳴くと馬鈴薯作りですが、昨年は入院で初鳴の日を知らず、十六、十八日と思うが、今年は何日か？ 焼畑の真似をし、雑木や竹やぶの下刈りで出たものを畑に運び、焚いています。結果はいいと思います。

155 (3/14) 彼岸も近づき春めいて来ました。梅が満開になりました。鶯の初鳴きも近日でせう。ご健闘をお祈りします。

156 (3/24) 背をのびし 南枝に咲ける 梅を折り

十五日鶯初鳴きす。初鳴き二三日早し。本年最高温の日 早掘り用馬鈴薯を作る。 十六日より雨、十七日大雪約廿センチ積。以後雨曇で軽い咳風邪で三日休眠。廿日 日がでて日向の雪は滑る。又雨で畑仕事は十日空白でせう。昨年は十五日入院でしたが、立川の桜つぼみ赤かったと覚えてます。もう桜の時期ですね。西原は半月か廿日位は都内より遅れます。体調は復帰せず、中川さんへも一ヶ月以上訪れず 天候悪しきに退屈してお便りしました。

157 (3/30) 信州や東北の遺跡を見学した後の整理が大変でせう。次から次へと出土品がでたり、新しい遺跡出現する様子。

天候にはばまれ仕事は狂います。雨ふらぬ日あっても畑はぬかり田圃の様で手が付けられません。 十八日 霧の中からカタクリの蕾の出をふと眼に止めました。五日(日) 頃開花か、十日(日) 頃になるか、天候により早まったり遅れたりします。今年も不順の如くで、いつ頃になりますか？ 兎も角ご一報します。 十四日間は何もできません。体調は崩れます。 まだ春野菜の播種も終わりません。

158 (4/15) 春たけて なぜな花咲く 畑の道

久々に三人での十一日のご入来には誠に失礼しました。天気は良かったがカタクリは終るところでしたね。・・・前日の雨から植木集めで十一日はヘトヘトで根巻し、小型トラック一杯でした。次女の嫁した本家の義兄の運転でした。疲れでお詫びも遅れました。

159 (4/23) やつと疲れがとれ少し元気になりました。十九日の高温と風で桜は散り、桃李・つつじです。花見用なしで、部落外へは今年四・五度で煙草求めか野菜でも探す丈で、私自身のことです。精一杯になりました。でも信州の娘へ種から苗から育てた植木を沢山やったことは嬉しいことで、安曇野に不思議な縁があったですね。娘と私の縁は強く将来へつながるでせう。若葉に移ろうとし、鯉幟が見えて、五月連休も迫りました。畑に葱坊主が黙してならんでいる。傍で煙草を私は吸っている。晩霜を心配しながらトウモロコシ・インゲンを作ります。五月は雑穀を作る時期ですが、鋏も重く、意欲もありません。山菜や筍の季節になります。田も捨て、植木や畑も段々遠くなります。でも暇があれば植木にかかります。

160 (4/30) 初燕 ジャガ生えたり 産毛の芽

天候が安定して 向の山の若葉一夜で見違えるようになり、山吹が咲くとカタクリは枯れてしまう。咲きははじめは濃く 終りは淡くなります。

粉の如く種ですが深鉢に蒔き、半日陰へ置き試験してみたい。発芽するかどうか。連休・・・荅子はいつも留守居で 戴た北上のお土産をめでてお茶でも呑むが無常の楽しみです。 次男は帰省します。 暑くなったらやつと元気になるそうです。疲れと風邪で節々は痛み咳とたんで苦しみ もう駄目かと思いました。処が運だめしに梅の接木が芽を出し、まだ寿命尽すと気を良くしました。視力が悪くなつてから四・五年 接木が一本つきませんでした。穂木がある柿と柚を接木しています。一寸暇を見て藤は穂気なしで、台木は三本あるです。 是からキュウリ、ナス、南瓜の苗を求めて植ます。直接蒔たのは発芽したところです。 木の萌芽や山菜の季節で、山椒の芽を採ります。 妙な便りになりました。まだ手先がふるへます。

自分も昨年五月から七月まで入院でしたので、(中川さんの入院) 理解しています。 元気になれそうですから、退院していたら話に行けます。

161 (5/6) 中川さんのご様子有難うございました。体調が悪くも快晴ですと

出掛けます。四月六日とは驚きました。折悪しく、私が風邪を引き(日のよう)で(以来 雨の中(十一日の娘の植木運の支度で) 十日は無理が祟り、週一回の診療所(金)に通い 風邪薬・筋肉痛へ膏・めまい・耳鳴りの薬等を(貰いに) 診療所(に行った日)のようです。天候が良くなつたら、前便の如くすこし健康を取り戻した次第です。 廿日雨に乾燥の畑がしめる。 雨中を又試作

のソバ蒔きでした。

拙宅は私が高齢でも病人でも問題は無く、支障なしです。口には出しませんが、(6歳上の勲三等の兄、甲府住)叔父さんを誇りとして皆努力して、孫たちもそうで、私が小学丈で農だけの経験しかない粘り変種の野生児です。でも自分には厳しく生き、人間的には負ぬつもりだ。若い日には星雲の志一杯でした。

連休は農耕のようで感心します。私は晩霜を恐れて連休明けに、キュウリ、南瓜等の苗を購入して植ます。直蒔きは発芽しているが、早く食べるので六・七本購入します。十日位早です。五日は子供帰りますが、子供は顔を見て少し話す丈で、兄弟の宴に、私は酒は嫌で同席せず。

廿日は飯尾に珍しく火事一軒焼けの事。
春の叙勲にて拙宅の上の家 元参議員降矢敬雄先生勲二等です。敬雄先生は俳句の師で、新俳句(井泉水)高弟で、私の句はこの流れですが、一茶風ですよ。私の兄は勲三で上と下です。下城ですが、ここ二軒を私が勝手に下城ヶ丘といふのです。

162 (5/15) 三年振りに笥掘りをしてみました。それをお送りしましたんで

す。山菜も終りで、蒔や野生の三葉位です。野菜も西原は造れる土地で六月に入ればキャベツ エンドウ 大根です。不安定な天候で晩霜を恐れ、購入して植る野菜苗は十二・三日に植ました。ジャガ薯 六月半ばから掘り食します。私の風邪気味はつづき シコクビエを蒔ただけで雑穀作りは及びそうにないですね

163 (5/25) 若竹や 日永の空へ 澗瀬と

不安定な変化の多い天候で困ります。連日午後には俄雨や夕立ちで、畑より逃げ帰る途中雨に濡れて風邪になり、相変らず体の調子を狂わされます。昨年頃より小鳥が減じ、トウモロコシの発芽を掘られず、珍しい成育振りで、暇があっても病友中川さんも尋ねず、昨日自家用の苆を届けました。どんな様子か? 里芋がやっつと芽を出しました。サツマ芋を挿しました。遠からず梅雨入りでせう。奥郡内は青葉で、谿谷は暗くなりました。まだ時鳥は来ません。茶摘みの時期ですが、今年も摘めそうにありません。ふるさとがあり、恩師があり誠に倖です。小学丈でしたので恩師は他界で、子供の師三・四人と交際しています。天気が悪いと頭の運動に読書ですが三十分位しか続かず、視力より頭の方が駄目です。

木俣さんより『インド亜大陸の雑穀農牧文化』阪本寧男先生編を読んでいる次第。雑穀の方では阪本・木俣・小林と三博士知っており、これが私の師かも知れぬ。カタクリの実を採りました。近日鉢に蒔き現地に鉢を埋め自然体で発芽を待ちます。成果はどうなるか。最近新しい出土品遺跡がテレビで紹介されますね。

164 (6/5) 土日も返上のご多忙のご様子、いつもお騒がせして済みません。

私は、今年是在宅しているが、昨年の付けが残っていて、弱っています。妙なもので、出水で畑が流出したので、その分荒した畑を又畑に戻したり、桑畑を畑にしたりしています。それは合間を見てです。まだ時期の作物を作り切れず、やく一年旅にも出ず蟄居の如き平凡な生活で、行く処も訪れる人もなしで、雨日には半日ほど頭の運動にと読書をしてみるが、視力より頭が疲れてつづかず。

畏友といつては失礼かも知れぬが、木俣農博士は「遠い昔と遠い未来を見通して今を生きる」と名言だと思えます。

五月廿九日 一日だけ天気の日がきました。この日松蝉が鳴き 方々で一斉ですから不思議で、羽化して待っているだろうか? 暑い高温の快晴の日でなければ鳴かず、二週間か三週間かの命だろくに、松の木で鳴くが松が減じたので今は他の木に棲んで鳴くかも知れず。山ですから判りませんが、高い梢で若い日二度ほど捕りました。日暮蝉は秋の法師蝉に似た蝉で、忙しげに高い声で鳴く蝉ですね。

病友の中川さんも訪ねず、自分も亦 半病人で背負うことや肩で担ぐ荷は特に弱く、半日も畑を耕すと腰が痛んでグロッキーになるんです。

馬鈴薯の花が咲きました。鶯が鳴いた日から八〇日になるので、早掘り用を今日四日初掘りします。キャベツ、えんどうは食べられます。八月は(七月中旬か)南瓜類やトウモロコシ(ハニーバンダム)ができます。インゲンが支柱に巻きつき、トマト花が咲き 最近雨を嫌って屋根掛ける栽培が多い。

165 (6/15) 梅雨入り八日目 雨が来ました。本格的な梅雨かも知れません。曇

が続き、朝夕は霧海で日中日がさすと松蝉が鳴く。昨年より二年茶摘も出来ず、七八月中に株直しをせぬと来年もだめです。八日 久し振りで中川さん訪問、矢張り私と同じで 仲々体力はつきません様子。昨年作らず種切らぬよう白キビ、糯粟の種を分けてもらい、種保存のため、種用を作る予定。

とうとう昨夏―初秋の雨で、紅花の種も発芽した如くで蒔たが何本も生えず、これをなんとか育ててと思えます。トウモロコシは普通種これも腐り、いんげん。小豆、大豆も種にならず、古いものを作ったりです。探し歩く老人は大変だし、結局買って作ります。馬鈴薯八〇目で試食、只今九〇日目実入りました。発病しない限り豊作です。

さつきが咲き、卵の花です。山百合も間もなく咲きますが、紫陽花はまだです。宮仕えしている方々は暇なく精神的に疲れると存じます。私は野生児で我儘者ですから呑気ですが、収入はなしで両立はむずかしいです。家でも倅夫婦は大変で同情したくなります。

166 (6/23) 紫陽花や 傘さす女の 顔見えず (昨年路上での句 西原)

は花芽がカリフラワーのように まだ咲きません)

本格の梅雨ですが、夕立ちがあるが妙ですね。金子さんが、紫陽花が美しく、田植えの準備といふ。それで昨年を思い出しました。雨の日に外出して遺跡公園に連れて載いて、シコクヒエを植えた事、エゴの木を知った事、又私の心で描く桃源郷に似た鈴木さん宅周辺 もう尋ねる日はないでせう。エゴの木は知ったが別れで、私の植え置いたは昨年の出水で畑と流出。山へ探してもだめで、下向いて咲く花とは逢えません。

作物の成育は良好で、雑草も同じで土用明け頃、日照りでないと里芋も又豊作型です。珍しくキュウリ 廿日初もぎです。トマトは昨年から屋根作るが流行って皆が作っていますが、私一人はまだです。馬鈴薯は四日より食べていて、豊作型で収穫は七月半よりでせう。足と腕、腰が痛み、体力・気力も衰えるばかり。

167 (6/27) ここ中止しようとした穂モロコシ植え。大豆を植え、後シコクヒエですが、畑を荒していますから 整地が大変です。田も麦も桑も捨て、仕事はうまくはかどりません。雑穀は種用に重点を置き、食料分までは及ばなくなりしました。

ソバの試作に取り組み それは秋ソバが霜に被害を受ずにどうしたら収穫が毎年近づけるかといふ点と、新種類として信州早生とネパール晩生種です。昨年両方を同一日に作りました(試作畑が台風で土砂に流れ込まれて僅残りでしたが、目的は達し)、信州早生は普通種より十五日程早く完熟、ネパールの方は約二十日遅れ、珍しく十一月半過の霜より完熟しました。是を基本とし本年は挑戦です。信州早生は(先便に・・・)四月廿日作り、只今六

月廿五日花から実がつき出しました。七月十五日頃は完熟収穫予定で、収穫と同日、秋ソバとして作ります。今度は実用化できる収量となります。ネパールソバは・・・計算上は七月早々作れば、霜の被害に遭わずに収穫できるのです。・・・両方とも小粒です。収量の点や味は本年の結果です。楽しみです。老人の期待ですので申し上げます。

168 (7/5?) 花栗や つゆ空つづく ほととぎす

シコクヒエの粉を少し送ります。実は昨年にも笑味して戴こうかと思いましたが。安孫子さんは白米育ちですから、雑穀の粉は食べるは無理と存じました。この雑穀シコクヒエは、昨年私が七月半退院してから定植したもので約廿日位遅れ、しかも苗はふし立ち老衰したものでした。八月半から九月度々の豪雨出水の凶作で僅ながら実が得られたことは、シコクヒエの凶作に耐えられた強さで、ここに縄文時代から栽培された原点かも知れず。

平年より粗悪で、特に食憎いでせうが、生きた記録です。本年は手近な畑昨年流出したので、荒した桑畑を苦勞して畑に戻して、このシコクヒエを六月廿九日 七月一日半夏生前に植えました。老人ですから僅です。

調理法は沢山 ネパール、インドの広大栽培の土地でのこと聞いていますが、フライパンに油を塗り、粉を天ぷらの衣の如くでなく、薄焼を作り塩を加えた方がよいでせう。他は湯で小麦粉の如くこねて小さな餅を作り、鍋湯を煮立たせて是に入れ茹でます。すぐ上げて黄粉か砂糖か蜂蜜かジャム、好みのたれ付けて食べます。小麦粉を交えて作るもいいた。参考として。

七月一日 一日丈の好天気で早掘り馬鈴薯やと掘って乾しました。疫病が薯に少しはじまっています。豊作型、日照不足が疫病発生の原因です。三月十五日作りしましたので、百五十六日でせうか。馬鈴薯も不足なしとは存じますが、お送りします。白早生で通称伯爵と呼ぶ種類、北海道産の種。七月が小豆とソバ作りです。

169 (7/22) 十八日より暑くなる。ここに三日は猛暑で夏の本番ですね。月末

は家でも孫達は親子連れで海に行くようで、私は相変わらず家居で暑さにも弱いので、涼しい処を求め、気ままに仕事です。日照不足が永かったので野菜の成育が遅れましたが、やっと元気をとり戻したが、葱・トマトは雨が嫌いらしい。昨年は種さえとれぬものがあつたが、紅花もそうで腐った種だったのでせう。三ヶ所作り、十本位移植して集めたが、今年も紅花のお茶は駄目でせう。三年茶摘をせず、茶株の株直しはここで行わぬと来年も摘めず。

冬は蕎麦（茶？）を作ろうと思っっています。味は麦茶に似ています。

170 (7/30) 山裾の 山百合咲きて 夏耐ぬ

土用入から猛暑で一回夕立ちあつた丈で日照りになりました。暑さに負けます。老人は駄目です。

玉蜀黍（ハニーバンタム）が出来たら狐狸が喰うので、少し早いが空箱を探して子供や知友に発送しています。倅や孫は海に行き四泊で帰宅（信州安曇野の次女が留守の世話に三泊 久し振りで和やかに語りました―171より）、西原は、木陰は涼風です。心配していた日照りになりそうです。

171 (8/10) 虎杖（いたどり）の花のこぼれや 蕎麦をまく

八月に入り雨と低温で日照りの夏も解消で、草木も人も蘇生の思いでした。

私の作柄は少し遅れ、黍 四日頃出穂はじめ、穂とうきび出穂はじめた処で、シコクヒエは更に遅れ二百十日か二百二十日頃に穂揃い予定。粟は作れず。米国種玉蜀黍は一番作りが大豊作で方々発送し、六日後作に秋蕎麦を作る。一回目は七月十五日で作た後に夕立ちがあり、後あの暑さで発芽悪く、今度は発芽を鳩がつかさうです。里芋、日照りでだめかと思つたが、もう大丈夫です。忙しいでせうが、芋煮会に使用してください。当方のお盆間近です。体力も気力も段々衰えるばかりで、鍛えてもだめです。（安曇野の次女が倅一家の海水浴行の留守番に来て）帰る折に家内に飾るのだと、石付の楓を一鉢持って帰つたには驚きました。バスと列車ですから重かつたと思う。末子（三男）が九日の日曜一泊 お盆は居残り忙しい由銀行も忙しい様子。

172 (8/26) 虎杖の花のこぼれや 夏老いて

異常気象の夏で閉口です。幸い台風がそれたことが嬉しい、でも九月一杯は安心できませんね。昨年の出水の大荒れで、蜚、雨蛙、蜻蛉、蜂が減りました。是は出水に関連は無い筈の蝉もそうです。秋の虫はどうですか？法師蝉が絶えたと思つたら三日前よりすこし鳴きます。奥山からの熊蝉は声がありません。さて又残暑が強いし、八月も日照りになりました、大根は作りましたが発芽せず、白菜は苗です。早いがほうれん草も生えませんが九月に入れば野沢菜、ノラボウ、蕪菜、葱苗、キャベツ苗、冬菜、からし菜です。雑穀は台風がないので良好で、近日みんな穂揃いです。弱つたことにキビは早いので頭を垂だし、小鳥が来るので網張ですが、今年無肥料で作りましたがそ

れでも長いし、老妻は暑さで健康を一寸そこねたので保養を兼ねて信州の次女の処へ泊りに行きました。温泉が近いのです。暑いのに一人で網張で、とうとう仕上らず、投げ出しました。粟は作らず、シコクヒエは網不用でいいです。

信州早生蕎麦 馬鈴薯の後作に秋蒔きとして七月十四日作る。今花盛りで実は少しつき出す。九月中に収穫予定。八月六日 信州蕎麦二回目をハニーバンタム後作として作るが、鳩に発芽をやられました。予定は十月上旬収穫。八月十二日蕎麦 三回目を作る。結果は霜前に収穫できるか予定。◎ネパール蕎麦は春蒔きがまだ収穫出来ず、秋蒔き性らしい。秋蒔きとして試作に七月一日（半夏生）に作りしもの 只今やつと花穂が見えはじむ。異国のものはむずかしい。食用菊 七月下旬より天ぷらで、只今花を干し茶として、

173 (8/31) 廿九日蟋蟀（こおろぎ）が鳴き出しました。毎日暑い空が澄み

秋の虫が鳴き出しました。台風はそれましたが、日照りで作つた大根は駄目で、白菜は苗床で培養 秋野菜は作れません。日中は仕事もできず家居です。予想通りの日照りで、この後台風でもと 九月一杯は心配です。

金子さんはお元気でですね。好い成果を得てご帰国を祈る次第。私など葉かげに潜む虫のように、日蔭に潜んで月に一回煙草求めに出掛けるさえ思案です。

雑穀も乾きすぎで実が細かいかも知れません。食用菊の花びらを干して茶にと思っっています。仕上がりは上上で、長寿の茶だと自分できめます。紅花は失敗で二年作れず、試飲だけでした。

ネパールの蕎麦は秋蒔きでせう。春作りは収穫に至らず、七月一日に作りしもの 花穂が見えます。霜前に収穫できるでせう。

174 (9/16) 六日より涼しくなりました。青梅街道を丹波山から一ノ瀬高原へ

鑑賞の由、あの谿谷のおいらん淵付近が好です。高原へは三年心掛けるがまだ行きません。六月 落葉松の萌芽を見たいので蓮華つつじも咲かせう。柳沢峠からの眺めも好く、峠を下つた黒門から僅で武田家の重宝の御旗（日本最古の日章旗）や信玄の風林火山の旗のある曇峰寺があります。

私は若いころより峠を越えたい、それが望みであり 憧れでした。西原は何処行くにも峠を越えるのですが、とうとう峠を越えられず 生涯西原です。旅らしい事もせず、終ります。八月下旬から老妻を保養兼ねて信州安曇野の娘（二女）の処、半月滞在でした。独り静かに蟋蟀の声をききました。 過

去・現在・未来を思ふとなしに、思いました。秋は思惟するものらしいです。煙草切らしたが求めに行く元気もなく黙々としています。早魃で野菜ものは作れず、畑は土ぼこりが立ちます。日照時間の短い土地ですから秋の彼岸までに作り終らねばなりません。黍は十二日取り上げました。独りで張網ですから不完全で、小鳥に荒されました。試作の秋蕎麦 六十三日目で刈りました。早いのに驚きました。シコクビエ、穂モロコシは手刈です。涼しいので日蔭から這い出しました。敬老の日も畑です。

175 (9/25) 気候の変化も激しく、政治も経済もその通りで、世界中が苦しんでいるらしい時代です。九月はお祭り月で、いつもお祭りという雨で(したが)本年は天気が大当りで、土日を祭日します。廿日運動会 廿三日田和の神楽が最終です。

十九・二十日の土日は野菜作りをなされたでせう。私は苗床で老化する白菜を、雨はいつになるか判らぬので、乾いた畑へ破れかぶれ、空きビンで水を運んで十五日定植はじめ 十六日終りましたら、夕方より夜半迄小雨降り雨が一ヶ月余であり、十七日も夜から朝 十八日も雨が朝迄で、日照りは解消です。以後十日から半月は遅れた野菜作りに専念ですが、急に気温が低下で、発芽は遅れ、野菜不足は来春にも及びます。

十一日の月見に里芋とさつま芋を、里芋は小さくてもしまっていました。凶作ですが、芋煮会検討してください。忙しかったらお送りします。中国河南省重陽の菊水谷の故事よりヒントを得て、菊の茶を思しき花を日干し 仕上がったのを時々飲んでいきます。砂糖を一寸加え、延寿茶か延命茶とも名付けようと思います。

紅花は二年とも採花できず、今年は種を腐らし三回作りやつと六本を得たのみで、種を絶やさずの程度です。次に戴いた山形の菊(モツテノホカ)は花が咲き出す処。早生黄菊を七月下旬より好物の天ぷらにして現在迄、矢張り九月下旬からの方が美味です。・・・涼しいというより急に寒いという程の変化で、冬が早いという予報です。初霜はいつあるか? (平年は十月下旬です) 初霜の早いか遅れで秋蕎麦の結果はきまるんです。ネパールの蕎麦は、秋蒔きを七月一日に蒔いたのが実つき出し、十月十日頃は刈取りに至ると思います。

夏より何処にも出掛けず、私を訪れる人も無く、全く西原の出来事は知らず。小俣光雄氏(写真家)が二回尋ねて呉れました。老人は別世界に住んでいるようなものです。然し趣味と云うか、物好きと云うか、自然を相手に一

人でも結構過せます。

昨年、西原でも「ふるさと祭り」を催す筈でしたが、出水の被害甚大のため、本年第一回を十月十七・十八の土・日に開催で、いろいろ準備をしているようです。きつと広く宣伝して外来者を集める事に苦心しているでせう。どんな趣向をこらしたお祭りか、時代に相応するお祭りか? お都合してお出掛けください。

176 (10/6) 珍しく快晴の日ご来車で何よりでした。私には椎の実など忙しい中を拾い下されたものがほんとうに有難く嬉しいのです。三ヶ月ぶりで中川さん宅に行つたのですが、芋煮会盛会であつてと願っています。

当方も九月より続いている行事で、四日地区敬老会、十日地区運動会、十七日ふるさと祭り、土日は倅夫婦いつも留守。老妻敬老会で、独り中食です。・・・収穫物は残り少なく、堆肥づくりや乾柴刈りで、老化したので僅しか仕事はできず、でも淡々としています。ご都合して来春頃、お出掛け下さい。五日雨晝でも啾々と虫鳴きます。

177 (11/6) ぼつねんと 孤独の秋や 吾亦紅

十月廿八日 初霜でやつと天候安定かと存じましたが、今日二・三日の低温で大霜に、急に晩秋になりました。

当方十七・八日ふる里祭り 雨も降らず、小学校を中心に川を挟んで催され盛会で、私も何年振りかで人手の中に行きました。生き残って見に出られたことは倅せといふことでせう。十月四日は炬燵で菊茶を呑み 戴いた銘菓を味わいました。世代交代を加え、家居のみで界限のことも知らず、平凡な日常ですが、頭の運動に本を読みます。

まだ干柴を刈っています。未枯れゆく草間にりんどうが咲く不順の天候では紅葉が駄目です。・・・ネパールの蕎麦四年目でやつと試食量(五升)を得ました。七月一日蒔き一一五日で収穫です。穂モロコシ倒伏せず当りです。野菜類は凶作で、越冬野菜もだめです。小さな苗ですが、玉葱を珍しく定植、越冬が心配です。

178 (11/9) 安定したかと思つた天候も亦崩れました。秋の行事も終わろうとして、立冬に入りました。・・・高尾山付近は日照時間が長いので紅葉は美しいでせうが、こんな年は、当方は冴えませぬ。高尾山の頂と西原の村落と海拔は同じです。何年か前、並木の銀杏まつりの折に車で通つた事がありま

す。二日からの寒で段々凋落の色が濃くなりました。

雨が降ると終日炬燵です。尋ねる人も訪れる人もなし、本を読んでテレビをみて頭が疲れ長く続かずうたた寝になり外に出る元気もなしで、百舌鳥や掛巢の声を夢のように聞きます。隠居者ですから用事は有りません。世代交代で句友も農友も減りました。秋野菜のこんな不作ははじめてです。

日照不足と低温で蒔くのは遅れ越冬野菜は駄目です。西原では玉葱は稀に作るだけで、今年から挑戦です。やつと苗がとれ、小さいが植えました。是も三年四年と経験を重ねないと実用化に到らぬでせう。老人むきの仕事です。

ネパールの蕎麦は四年目で成功しましたが、是から食べ方と味で日本の蕎麦と同一に調理できるか？信州早生蕎麦は三年目で既に実用化できます。秋蕎麦として栽培 信州蕎麦は六十日かけて刈取り、ネパール蕎麦は百十五日でした。

今月廿三・四日小金井の学芸大学にて本年度の全国雑穀大会がありますが、老化した私には参加は不可能で、私の知ってる方達もあるんですが、残念です。

昨八日は降りそうで一日持ちまして、里芋の種芋を種穴(たねぐら)に埋めました。あの大根畑の並びで、仔は小さいが豊作で驚きました。沢山穫れすぎ、沢山埋めました。蕎麦、穂モロコシは、台風が来なかつたし、霜も平年並みでしたから穫れた分です。霧雨で寒い九日嫁と妻は外出中 炬燵で半日独りです。

179 (11/12)

菊の香や 野焼きの陶の展を祝ぐ (金子さん陶芸展)

菊咲いて 篤実の枝や 今日の展 ()

茶の花へ 峰生きていて 日ざしかな

金子さんの陶芸展へ残念にも行けません。句でもと思って久し振りで句作、無理な句です。

落葉しげく、朝夕の寒で虫達のように弱つて了ます。晴日が続かず、干草刈も終らず、取り上げたものも片付かず。今は扶養家族で無職ですから農子は●ず。かつて故笹村先生(芸大助教授)の私のブロンズ、一茶像のモデル本像には光苔農子と有り、私の家宝です。

暦に廿二日 小雪ですね。西原も廿日頃から小雪の降ることは通例で、本格の雪はそれより一ヶ月頃です。

180 (11/21)

雪虫や 山の畑の 土大根

冬めきてあかぎれ膏を求めけり

十九日よい小春日和、初冬 雪虫が飛び、大根取り 金子さんの陶芸は王道とでもいふか 良き日ですね。

考えてみると、私は故笹村先生依頼、聴講生でもあるのでせう。尋卒の浅学ですが 知識豊富はそのお教化が大了。各地から出土品や遺跡が発見され、私も興味を持ちます。秋川(前田耕地遺跡)から貴重な出土品があったようです。安孫子さんにより 白神山地のブナ林と屋久島スギの二つが私の最大の憧れでした。二つは世界にも誇らしい。私はそれ以前からでした。

十九日 やつと乾いたのでシコクビエ稲架の如く刈って掛け置きしを、穂を切り家に取入る(刈って一ヶ月です)。もはやダメと思いに 台風が無く倒伏せず当りで、穂モロコシとソバは予想以上の収量が望めます。ネパール蕎麦は製粉場依頼中。他のものは日照不足で干上がりません。

廿日大雨風はなし。廿三日の代休として炬燵で休養。晴れると寒くなる由

181 (11/25)

短日を 着ぶくれの 我が影とゆき

雨で先に代休したので、廿三日農休(勤労感謝)は快晴を惜しみ、人見ぬ畑でした。

出土品や遺跡が山梨でも新に発見されるようです。

不作だらけの”木の実”に、花が美しい喰ぬ山梨(石梨)を盆栽用に仕立てそこね二米になった木に小さな実が一杯なり、どうした事か、砂糖と焼酎で漬るとよい果実酒が造れるが、私は必要なしで、又放任のキウイフルーツが今年に限り沢山なり、極めて小さいが 霜が遅い精か珍しく熟して取って食べます。柚も僅なつたが、又是も小さくて やつとみつける程です。是らは鳥やけものもかからずです。

正月は春の七草を揃えて食べようと思うが 全部を揃えることは 寒い土地です。今から集め、仮植でもせぬと寒風や寒でだめでせう。御行と佛座はまだ試食したことなしです。芹が一番いいが、川や沢が昨年の出水で荒れ、自生地に絶へたので探し出し、山葵のごとく栽培せねば駄目で、考えると実行は、？ですね。

食べるようでしたら、雑穀の粉か精白した粒を送りませう。来春 当方へお出掛け出来なければ、荳ゴマ、ネパールのソバ、吾亦紅は送れます。本年は芋ガラや干草は作れません。山芋も早で蔓が茂らず、掘りません。まだ沢山あるは里芋、ジャガ芋・人参です。

182 (12/7) 晴日は朝夕特に寒く0〜0二度になりますが続かず、ぐずつ

く天気になり、脱穀調整した雑穀も乾かず、干柴なども運べず。・・・
十二月一日の雨の日、ネパールの蕎麦、試食してみました。蕎麦切り(麵)に
できるか心配でしたが、こねると相当ねばり出来たが、茹でると日本のもの
よりポキポキして味は悪く、色は一寸青みがあり、粉のうち黄です。考え
てみると、既にこの種類の外国産のものは日本の蕎麦粉に交ぜて使用されて
いるのですね。味の悪い蕎麦店のもはこれでしょう。日本のものは三割位
で七割は輸入ですから。と言つて自分が試験しないで蕎麦粉を送るわけにも
行かず、独りで試食してみました。妻が二度程食、他の者は嫌で、残りを
私は三日間食べた次第。寒いから安全で蕎麦は好きで苦にもならず。日本の
より味は悪いが食べられました。四年がかりの成果も大成功とはいかなかつ
た。穂とうもろこし、ネパールの蕎麦粉いづれ送ります。金子さんは蕎麦
も造れるのでせうから、適当な折、試食してください。
今度は玉葱の先駆者として、取組んでいます。

183 (12/13) 十二日 朝から雪が時々舞う。午前畑 午後休業・三時頃本格に

雪が降り、山も野も真つ白然し掃く程は降らず、九時頃晴、朝外温0三度
位。朝、山も野も真白で庭や道は積らず、雪景色は佳。

十三日午前は休業 日蔭は雪とけず、急に暇なので 雑穀 黍稗の粉を差し上
げます。

夢だった桃太郎の黍団子の黍で、朝日で取り上げて呉れた例の黍で 話丈で味
はつたことがないでせう。試食して下さい。味はよくないかも知れぬが、
何年か掛かって探し当てたもので、作ってから入院して実った黍で、天候不
順で良くない出来でした。私も老化して、今後は種用僅しか作れないかも知
れず、私としては貴重です。

山葵漬は、友人のわさび屋のものです。好むようですから

184 (12/20) 年でも明けたら黍粉でも送りませう。土日丈の内職の製粉所で

暮は品が多く手間どるです。
本年の私の特筆すべきことは、椎の実を戴たことで、生れて初めて食べられ
たことは嬉しいことであり、縄文の味だと感動で、その頃のご馳走だったか
も知れぬ。次はネパール蕎麦の味、西原での一号ですから。他は菊茶で、
又そば茶は雪の日までは待ちきれず調整 干し上げを待ち早々愛飲で、夏向
きでせうが、以上ですね。

今は植え付けた玉葱で、是非無事の越冬を祈っている次第。
良き事を行っていると思いが忘れます。三日程厳しき寒で十八日は雪が舞
ました。薺(なずな)を摘んで来て、今日は浸しにて食えます。